



一般社団法人 千葉県社会福祉士会

第9回定時総会

資 料

開催日:2021年6月20(日) 13:30~(受付 13:00~)

会 場:千葉県教育会館 本館 6階-604 会議室

次 第

□議事

議案第1号 2020 年度事業報告及び決算報告について (2020 年度監事監査報告書)	……………1
議案第2号 規則第2号会費等に関する規則の変更について	……………36
議案第3号 規則第6号正会員に対する苦情に関する手続規則 の変更について	……………38
報告事項 2021 年度事業計画及び予算について	……………40

総会に諮る事項は定款第 21 条に定められた事項に限られ、また法人法第 49 条第 3 項の規定により予め通知した事項以外を議決することはできません。

会員から本会へ意見発信する機会を保障するため、議案に対する意見募集を行います。

議案に対しご意見のある方は、本会 Web サイト (<http://www.cswchiba.com/>) を参照の上 2021 年 6 月 1 日 (火) から同 6 月 13 日 (日) 必着でご提出願います。

また郵送・ファックスでもご意見を承りますので、千葉県社会福祉士会事務局までご提出ください。

なお、寄せられたご意見は取りまとめの上、会員氏名 (姓のみ) および意見内容を Web サイトおよび総会会場にて公開いたします。予めご了承下さい。

＜議案に対するご意見のご提出先＞

※2021 年 6 月 13 日 (日) 必着

名称：一般社団法人 千葉県社会福祉士会 事務局

住所：〒260-0026 千葉市中央区千葉港 7 番 1 号

ファーストビル千葉みなと

FAX：043-238-2867

議案第 1 号

2020 年度事業報告及び決算報告について

以下に掲載する 2020 年度事業報告書及び決算報告について、総会の承認を求めます。

2020 年度 事業報告

一昨年度末から起こった新型コロナウイルス感染症の影響で、当会でも企画していたイベントや研修を中止せざるを得なくなった。早い時期から必要な会議をオンラインで開始することを始めた。当座は会員個人が持っている機材とアカウントを利用させてもらっていたが、ICT プロジェクトチームを立ち上げてアカウントの取得と機材を購入して環境を整備し、研修や会議、地区集会等でオンライン開催をした。また、コロナ禍の影響に関して、持続化給付金など 4 件の補助金を申請し、300 万円余りが支給された。

上記による活動の縮小の影響もあり、2021 年度予算を大幅な赤字予算で作成せざるを得なくなった。事業毎の予算を精査することはしながら、昨年度中に財政再建委員会(仮称)を立ち上げ、会のあり方の抜本的な見直しを始めている。

災害対策として、千葉県は一昨年度に起こった大規模災害等を受けて、避難所等で災害時要配慮者に対して福祉支援を行う「千葉県災害福祉支援チーム (DWAT)」の派遣体制整備を進めた。9 月 1 日に、県、県社会福祉協議会、福祉関係 13 団体の間の基本協定を締結し、当会も参加した。

9 月には一会員からの発案を受けて、障害者福祉に関する公開研修を開催した。千葉県や千葉市の後援を得て、日本社会事業大学大学院教授の基調講演と県内 4 つの自治体の実践報告とディスカッションを行った。オンライン開催で 100 名以上の参加者から好評をいただいた。

2018 年 1 月から組織している「福祉と司法の千葉県連絡会」(千葉県弁護士会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会、千葉県公認心理師協会、社会福祉士会)では 3 カ月に 1 回程度の打ち合わせを行うほか、県内の基礎自治体を対象にして「生活保護のチラシ」内容の調査を行った。調査結果は固有名詞を伏して自治体にフィードバックした他、記者会見を開いて公開した。

2020 年度は、地域共生社会への工程が更に進められる中、具体的な形として重層的支援体制整備事業が示された。今年度から県内でも複数の自治体で本事業が実施される中、相談支援のあり方を検証する必要がある。未曾有の事態が継続する中、私たちは社会福祉専門職団体としての役割を確認して活動を継続する必要がある。

1. 総会及び理事会の開催と会の運営

【総会】

第 8 回定時総会

開催日 2020 年 6 月 21 日 (日) 千葉県社会福祉センター 4 階第 1 会議室

議案第 1 号 2019 年度事業報告及び決算報告について (2019 年度監事監査報告書)

議案第 2 号 役員の選任について

【理事会】

第1回理事会

開催日 2020年5月10日 塚本千葉第五ビル3階 事務局会議室およびZoom会議

出席者 渋沢・樽林・岡本・宮下（Zoom）常陸谷・四ノ宮・浅見・山口（利）・古澤・竹嶋・宮本・市原・服部・山下・矢部・若林・奥野

欠席者 山口（定）

<議事・報告>

- ・ 2019年度事業報告と決算報告
- ・ 2020年度役員候補者について
- ・ その他、総会に関する事項

第2回理事会

開催日 2020年6月21日 千葉県社会福祉センター 4階第1会議室

出席者 渋沢・常陸谷・四ノ宮・浅見・樽林・岡本・山口（利）・古澤・竹嶋・宮本・宮下・小川・大浦・市原・服部・矢部・若林・山本・山口（定）

欠席者 近藤、山下、奥野

<議事・報告>

- ・ 補正予算について
- ・ 懲戒の報告及び公表方法について

第3回理事会

開催日 2020年6月21日 千葉県社会福祉センター 4階第1会議室

出席者 渋沢・山口（利）・宮本・古澤・樽林・秦野・谷口・前田・長嶋・堀江・四ノ宮・宮下・安藤・及川・山口（定）・市原・若林・岡本

欠席者 山下、若林・山田・片山・葛田

<議事・報告>

- ・ 会長互選

第4回理事会

開催日 2020年8月9日 千葉県社会福祉研修センター大研修室およびZoom会議

出席者 渋沢・山口（利）・宮本・古澤・樽林・堀江・及川・秦野・谷口・前田・四ノ宮・宮下・安藤・山口（定）・市原・若林・葛田・岡本（Zoom）長嶋・服部・山田・片山・常陸谷

欠席者 山下

<議事・報告>

- ・ Zoomアカウント取得及び管理について
- ・ SSW（スクールソーシャルワーカー）担当者意見交換会参加者推薦について
- ・ 自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会について

第5回理事会

開催日 2020年11月8日 千葉県社会福祉センター中会議室およびZoom会議

出席者 渋沢・古澤・樽林・堀江・及川・秦野・前田・四ノ宮・宮下・市原・片山・葛田・岡本

(Zoom) 山口 (利)・長嶋・安藤・服部・若林・山田・常陸谷

欠席者 宮本・谷口・山下・山口 (定)

<議事・報告>

- ・ ぱあとなあ登録員へのアンケート調査依頼について
- ・ ささえあい配分委員会報告について

第6回理事会

開催日 2021年1月24日 Zoom会議

出席者 渋沢・山口 (利)・古澤・樽林・堀江・及川・秦野・谷口・前田・四ノ宮・宮下・安藤・
服部・長嶋・山口 (定)・市原・片山・葛田・山下・山田・岡本・常陸谷

欠席者 宮本・若林

<議事・報告>

- ・ 退会者承認について
- ・ 広告物掲載取扱規程 (案) について
- ・ ぱあとなあ千葉受任会費に関する規程改正 (案) について
- ・ ささえあい制度配分委員会の報告について
- ・ 2021年度 (令和3年度) 予算について

第7回理事会

開催日 2021年2月28日 Zoom会議

出席者 渋沢・山口 (利)・宮本・古澤・樽林・堀江・及川・秦野・谷口・前田・四ノ宮・宮下・
服部・長嶋・山口 (定)・市原・若林・片山・山下・山田・岡本・常陸谷

欠席者 安藤・葛田

<議事・報告>

- ・ 本会における収支状況と今後の方向性について

第8回理事会

開催日 2021年3月21日 Zoom会議

出席者 渋沢・山口 (利)・宮本・古澤・樽林・堀江・及川・秦野・谷口・前田・四ノ宮・宮下・
安藤・服部・長嶋・山口 (定)・市原・若林・山田・岡本・常陸谷

欠席者 片山、葛田、山下

<議事・報告>

- ・ (仮称) 再建委員会からの報告について
- ・ 2020 (令和2) 年度補正予算 (案) について
- ・ 2021 (令和3) 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について

2. (公社) 日本社会福祉士会への活動参加

- 公益社団法人日本社会福祉士会 通常総会代替 書面表決説明会 (Zoom 開催)
出席者: 常陸谷 政彦氏 (会長代理)
- 関東甲信越ブロック災害連携会議 (Zoom 開催)

出席者：服部 明氏

- スクールソーシャルワーク担当者意見交換会（Zoom 開催）
出席者：秦野 隆治氏
- 都道府県社会福祉士会会長会議（Zoom 開催）
出席者：樽林 元樹氏（会長代理）
- 全国生涯研修委員会議（Zoom 開催）
出席者：宮本 哲男氏、長嶋 祐一氏
- 都道府県社会福祉士会災害担当者会議（Zoom 開催）
出席者：服部 明氏
- 都道府県ばあとなあ連絡協議会（Zoom 開催）
出席者：四ノ宮 章氏、古澤 肇氏、吉田 愛子氏
- 意思決定支援セミナー 1部および2部
出席者：吉田 愛子氏、石橋 大輔氏
- Zoom ミーティングを活用した研修運営方法の手引き説明会
出席者：古澤 肇氏、宮本 哲男氏、矢戸 孝紀氏、太田 和美氏
- 関東甲信越ブロック災害連携会議（Zoom 開催）
出席者：服部 明氏
- 関東甲信越ブロック連絡協議会（Zoom 開催）
出席者：樽林 元樹氏
- 2020年度 臨時総会（Zoom ハイブリット開催）
出席者：樽林 元樹氏 Zoom 出席（会長代理）

3. 本会が推薦した各種委員等

【外部委員（推薦）】

- 千葉県保健福祉局 成年後見制度利用支援ケース検討会の専門職派遣
推薦：小川 晴雄氏
- 市川市 障がい者支援課、介護福祉課 市川市審判請求対象者検討会委員
推薦：吉田 愛子氏、今川 純子氏
- 千葉県健康福祉部高齢者福祉課 千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会委員
推薦：谷口 さなえ氏
- 浦安市 浦安市高齢者・障がい者権利擁護講義会委員
推薦：今川 純子氏
- 市川市社会福祉協議会 専門職後見人によるアドバイザー
推薦：今川 純子氏
- 千葉県 千葉県障害者介護給付判定審査会委員
推薦：竹嶋 信洋氏
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県新地域支援事業推進協議会会員
推薦：園 康祐氏
- 松戸市 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク委員
推薦：須田 仁氏
- 市原市 市原市地域福祉推進協議会委員

- 推薦：大戸 優子氏
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県地域福祉フォーラム幹事会委員
推薦：樽林 元樹事務局長
 - 八街市 高齢者福祉課 八街市高齢者福祉計画策定審議会委員
推薦：谷口 さなえ氏
 - 千葉県社会福祉協議会 千葉県運営適正化委員会委員
推薦：目黒 義昭氏、宮間 秀二氏
 - 佐倉市福祉部高齢者福祉課 佐倉市成年後見支援センター受任調整会議運営委員
推薦：高美 修次氏
 - 千葉県教育庁 千葉県いじめ問題対策連絡協議会
推薦：渋沢 茂会長、川島 隆太氏
 - 茂原市社会福祉協議会 もばら後見支援センター運営委員
推薦：北山 静香氏
 - 松戸市社会福祉協議会
成年後見制度利用促進に係る地域連携ネットワーク中核機関事業協議会構成員（仮）
推薦：小川 晴雄氏
 - 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 令和2年度千葉県地域リハビリテーション協議会員
推薦：前田 久美子氏
 - 市原市地域包括ケア推進課 市原市成年後見制度利用促進審議会委員
推薦：朽名 高子氏
 - 浦安市社会福祉協議会 後見支援委員会委員
推薦：長尾 景子氏
 - 千葉市障害福祉サービス課 千葉市障害者介護給付判定審査会委員
推薦：高橋 利宏氏、吉田 愛子氏、矢島 陽一氏、竹嶋 信洋氏
 - 佐倉市福祉部高齢者福祉課 成年後見制度利用促進に関する検討会委員
推薦：高美 修次氏
 - 市原市保健福祉部 市原市介護認定審査会委員
推薦：勝亦 雅美氏、増田 宏幸氏、佐藤 裕幸氏
 - 船橋市介護保険課 船橋市介護認定審査会委員
推薦：吉田 愛子氏、福島 節子氏、助川 未枝保氏、服部 明氏
 - 八千代市社会福祉協議会 成年後見運営委員
推薦：市川 澄子氏
 - 野田市社会福祉協議会 野田市成年後見支援センター運営委員
推薦：加賀美 和子氏
 - 八街市市民部高齢者福祉課
八街市地域包括支援センター運営委員及び八街市介護保険地域密着型サービス運営協議会委員
推薦：山口 美恵子氏
 - 浦安市社会福祉協議会 うらやす地域福祉活動計画IV進捗評価委員会
推薦：和田 千鶴子氏
 - 船橋市障害福祉課 船橋市障害者介護給付費等認定審査会委員
推薦：薄井 哲子氏、齊藤 茂雄氏、本間 直毅氏、助川 未枝保氏、矢島 陽一氏、

山崎 利枝氏

- 野田市保健福祉部介護保険課 野田市介護認定審査会委員
推薦：古澤 肇氏
- 市原市保健福祉部障がい者支援課 市原市障害者介護給付費等審査会委員
推薦：大戸 優子氏、福島 節子氏、飯田 俊男氏、朽名 高子氏
- 浦安市障がい福祉課 浦安市介護給付費等の支給に関する審査会委員
推薦：宮崎 淳子氏、樽林 元樹氏
- 千葉市社会福祉協議会千葉市成年後見支援センター 千葉市社会福祉協議会日常生活自立支援事業契約締結審査会、法人後見業務審査会及び市民後見人審査会委員
推薦：中山 雄司氏
- 松戸市介護保険課 松戸市介護認定審査会委員
推薦：吉田 真一氏、加賀谷 栄岳氏
- 勝浦市教育委員会 調査検討に係る委員（いじめ防止対策－第三者委員会）
推薦：麻生 雅子氏
- 茂原市高齢者支援課 茂原市地域包括支援センター運営協議会委員
推薦：渋沢 茂会長

【講師派遣・外部講師依頼】

- 2020年9月12日（土）
千葉市成年後見センター 市民後見人養成研修
講師：佐野 由香里氏、石橋 大輔氏
- 2020年9月17日（木）←2020年3月12日中止の代替開催
木更津市南部地域包括支援センター 高齢者虐待ネットワーク事業に係る勉強会
講師：須田 仁氏
- 2020年9月17日（木）
千葉市社会福祉協議会 社会福祉士養成課程相談援助実習
講師：竹嶋 信洋氏
- 2020年9月26日（土）
千葉県弁護士会 「暮らしとこころの相談会」
相談員：山口利史氏、宮本 哲男氏
- 2020年10月12日（月）
東邦大学健康科学部看護学科 看護師・保健師養成学科
ゲストスピーカー：堀江 亜希子氏
- 2020年10月21日（水）
佐倉市社会福祉協議会佐倉市成年後見支援センター 地域連携ネットワークづくり研修会
講師：高美 修次氏
- 2020年11月20日（金）
千葉県障害福祉事業課 令和2年度千葉県相談支援従事者現任研修
講師：竹嶋 信洋氏
- 2020年11月24日（火）、12月1日（火）
佐倉市社会福祉協議会 介護職員初任者研修

講師：岡本 崇広氏

4. 後援・協賛

- 2021年2月7日(日) → 2021年3月14日(日)へ日程変更
千葉県介護福祉士会 「訪問介護フォーラム2020」後援
- 2021年3月14日(日)
成田市社会福祉協議会 「精神障がい者ピア・サポーター養成講座」後援

5. その他の活動

- ① 大人の文化祭開催 ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ② 他団体への会議等参加協力

【千葉県への協力】

- 2020年7月30日(木)
千葉県健康福祉指導課 千葉県災害福祉支援チームの派遣に関する基本協定書調印式
出席者：服部 明氏(会長代理)
- 2020年7月31日(金)
千葉県健康福祉部高齢者福祉課 令和2年度第2回千葉県認知症対策推進協議会
出席者：平野 香氏
- 2020年8月18日(火)、9月23日(水)、10月19日(月)
千葉県健康福祉部健康福祉指導課
千葉県災害福祉支援ネットワークの運営にかかるワーキンググループ
出席者：安藤 宏之氏、服部 明氏
- 2020年9月3日(木)
千葉県健康福祉部健康づくり支援課 令和2年度第1回地域リハビリテーション協議会
出席者：前田 久美子氏
- 2020年10月6日(火)、10月14日(水)、10月30日(金)
千葉県健康福祉部健康福祉指導課
令和2年度千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)のチーム員登録及び講義演習
出席者：服部 明氏、大藤 泰弘氏
- 2020年11月1日(日)
第41回九都県市合同防災訓練 野田市社協と連携(情報伝達訓練) ZOOM開催
出席者：山口 利史氏
- 2020年12月28日(月)
千葉県健康福祉部障害福祉事業課 研修事業のアウトソーシングに係る説明会
出席者：渋沢 茂会長、竹嶋 信洋氏
- 2021年3月3日(水)
千葉県健康福祉部健康福祉指導課
令和2年度千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)ステップアップ研修
受講者：推薦チーム員 服部 明氏

【千葉県社会福祉協議会への協力】

- 2020年6月29日（月）
第41回九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練に係る第1回全体会議
出席者：服部 明氏
- 2020年8月5日（水）
令和2年度第1回千葉県災害ボランティアセンター連絡会 定例会議
出席者：山口 利史氏
- 2020年8月28日（金）、10月7日（水）
千葉県災害ボランティアセンター連絡会 令和2年度第1回会議、定例会
出席者：山口 利史氏
- 2020年8月28日（金）
令和2年度千葉県災害ボランティアセンター連絡会 Zoom 会議
出席者：山口 利史氏
- 2021年3月13日（土）
令和2年度福祉のしごとチャンネル（セミナー）
出席者：樽林 元樹氏、及川 哲氏、竹嶋 信洋氏、櫻井 絢子氏、皆川 絵里氏、
岩下 正樹氏
- 2021年3月26日（金）⇒書面開催へ変更
令和2年度第4回理事会

【市町村及び他団体への協力】

- 2020年4月24日（金）
千葉市保健福祉局 成年後見制度利用支援ケース検討会の専門職派遣
出席者：小川 晴雄氏
- 2020年7月1日（水）、8月4日（火）、10月14日（水）、11月18日（水）、
2021年1月26日（火）、3月10日（水）
市川市介護福祉課、障がい者支援課 市川市審判請求対象者検討会
出席者：今川 純子氏、吉田 愛子氏
- 2020年7月9日（木）、2021年2月4日（木）
柏市地域包括支援課 高齢者権利擁護ネットワーク会議
出席者：四ノ宮 章氏
- 2020年10月27日（火）
千葉県災害復興支援土業ネットワーク
「緊急市民講座@オンライン 水害と住宅再建」 オンライン研修
出席者：山口 利史氏
- 2021年2月19日（金）
千葉家庭裁判所 家事関係機関との連絡協議会
出席者：四ノ宮 章氏
- 2021年3月5日（金）
公益財団法人介護労働安定センター 令和2年度介護労働懇談会
出席者：宮本 哲男氏（会長代理）

- 書面開催

千葉県介護保険関係団体協議会 千葉県介護保険関係団体協議会総会及び第1回幹事会

6. 各委員会・部会

(1) 総務委員会

① 企画部会

ア 地域集会

今年度の地域集会は6地区で延9回、延128名の社会福祉関係者の参加があった。昨年に比して開催地区数は変わらなかったものの、開催回数、参加者数いずれも減少した。新型コロナウイルス感染症蔓延の3度の波、2度の緊急事態宣言発出の影響は深刻だった。そのような中で我孫子・柏・流山・野田地区はいち早くZOOM形式を取り入れ、年6回の「福祉道場」を継続した。その先取性や続ける熱意は特筆されるところである。本会としてもオンライン集会という新しい様式を推奨する方針を固め、ZOOMを活用できる環境を整えた上で広報部と合同で連続シリーズ「生きづらさを支えよう～地域共生社会を多職種で支える～」を企画した。第1弾は本会主催行事「自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会」となり、第2弾は拡大地域集会「ZOOM De 拡大地域集会～みんなで話そうつながろう」となった。双方ともに県下から多数の参加をいただいた。その後1月地区No.13・14が合同で、2月地区No.6市原市が単独で、3月地区No.1・2が合同でそれぞれ地域集会が開催された。オンライン形式では講師を県外から招いたり自宅から気軽に参加したりできる利点がある一方、やはり会員と直に会いたい、交流したいという声も聞かれた。

<地域集会開催内容>

- 地区No.①②合同 旭市・香取市・匝瑳市・香取郡(東庄町・神崎町・多古町)・銚子市・山武郡(芝山町・横芝光町)・大網白里市・九十九里町・山武市・東金市
世話人：西沢 将行、瀬戸 翔太郎
開催日：2021年3月13日(土)18:00～19:30
開催場所：Zoom開催
参加人数：10名
内容：コロナ禍におけるそれぞれの活動報告・意見交換
- 地区No.③ 茂原市・いすみ市・夷隅郡(大多喜町・御宿町)・勝浦市・長生郡(一宮町・白子町・長生村・長南町・長柄町・睦沢町)
2020年度開催実績なし
- 地区No.④ 安房郡(鋸南町)・鴨川市・館山市・南房総市
2020年度開催実績なし
- 地区No.⑤ 木更津市・君津市・袖ヶ浦市・富津市
2020年度開催実績なし

- 地区No.⑥ 市原市
世 話 人 : 床井 祐介
開 催 日 : 2021年2月12日(金)19:00~20:30
開 催 場 所 : Zoom 開催
参加人数 : 14名
内 容 : 意見交換会。兵庫からの久しぶりの参加者、初めての参加者もあった。
- 地域No.⑦ 千葉市(中央区・緑区・若葉区)
2020年度開催実績なし
- 地域No.⑧ 千葉市(稲毛区・美浜区)
2020年度開催実績なし
- 地区No.⑨ 千葉市(花見川区)・習志野市・八千代市
2020年度開催実績なし
- 地区No.⑩ 船橋市・鎌ヶ谷市
2020年度開催実績なし
- 地区No.⑪ 市川市・浦安市・松戸市
2020年度開催実績なし
- 地区No.⑫ 我孫子市・柏市・流山市・野田市
世 話 人 : 鈴木 将人、山口 利史

「第79回福祉道場」

開 催 日 : 2020年9月16日(水)19:00~21:00 Zoom 使用
参加人数 : 14名
内 容 : 「遠隔道場~小集団作業~ネットワークづくりの極意」セッション3回実施

「第80回福祉道場」

開 催 日 : 2020年11月18日(水)19:00~21:00 Zoom 使用
参加人数 : 15名
内 容 : 「遠隔道場~通常稽古~コロナ禍におけるリーダーとは」3名の発表と話し合い

「第81回福祉道場」

開 催 日 : 2021年1月20日(水)19:00~21:00 Zoom 使用
参加人数 : 9名
内 容 : 「沼道場 あなたにお勧めしたい私のイチオシ」お気に入りのプレゼン

「第82回福祉道場」

開 催 日 : 2021年3月17日(水)19:00~21:00 Zoom 使用
参加人数 : 4名
内 容 : 「遠隔道場 倫理綱領について考えてみた」各自項目を一つ選び参加

- 地区No.⑬⑭合同 印西市・印旛郡(栄町・酒々井町)、富里市・成田市・白井市・

佐倉市・四街道市・八街市

世話人：赤堀 久里子、古澤 充健

開催日：2021年1月23日(土)13:15~16:00 Zoom使用

参加人数：28名

内容：「社会福祉士がとらえるべき人権の視点～新倫理綱領に学ぶ」

講師：日本社会福祉士会 理事 中田 雅章氏

- 千葉県全域対象 拡大地域集会「Zoom De 拡大地域集会 みんなで話そうつながろう」
世話人：千葉県社会福祉士会 総務委員会（広報部会・企画部会合同）
開催日：2020年10月16日(金)19:00~21:00 Zoom使用
参加人数：30名以上
内容：他分野で活躍するソーシャルワーカーとつながって、「いざという時に助け合える人」をつくりましょう。
- イ 組織強化のための活動として他の職能団体との協働を研究する。
千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会とのソーシャルワーク 3 団体での協働事業は医療系現場のひっ迫の影響もありイベント等は行えなかったが、例年通り千葉県社会福祉協議会主催の「福祉のしごとチャンネル（セミナー）」へパネリスト選出を行った。
一方、左記 3 団体にプラスして弁護士会、公認心理士協会と組織している「福祉と司法の千葉県連絡会」においては協議を続行し、下記の行事を行った。
- 福祉と司法の千葉県キャラバン in 市原「なんてこったコロナと生活困窮」
開催日：2020年12月6日（日）14:30~16:30
開催形式：オンライン（Zoom使用）
内容：いちほら生活相談サポーターからの発表、各会の活動状況
- 福祉と司法の千葉県連絡協議会「貧困問題に関する懇談会」
開催日：2021年1月15日（金）18:30~20:00
開催場所：千葉県弁護士会館および Zoom 使用によるハイブリット形式
内容：警察署、生活自立・仕事相談センター、弁護士からの税滞納者の和解事例などの各報告と意見交換
- 福祉のしごとチャンネル（セミナー）
開催日：2021年3月13日（土）13:00~16:00
開催場所：オンライン（Zoom使用）
内容：「専門職のしごとを深掘り」と題して、MSW、PSW、CSW 各会からパネリストを選出。リアルな働き方ややりがい、大切にしていることなどの紹介と、この仕事をを目指す方へのメッセージなど。
- ウ スクールソーシャルワーク関連
日本社会福祉士会では『スクールソーシャルワーク実践ガイドライン』を発表した（11月29日）。作成の過程で千葉県からも意見を述べ、全国実践研究集会には現任のスクールソーシャルワーカーに参加してもらった。本会としてもどのように取り組んでいくか検討を

開始した一年であった。

【参加研修】

- 2020 年度スクールソーシャルワーク担当者意見交換会
開催日：2020年8月23日（日）10：00～12：00
開催形式：Zoom ミーティング
内 容：実践ガイドライン案の概要説明、グループ討議、全体での意見交換
- スクールソーシャルワーク全国実践研究集会
～スクールソーシャルワーク実践ガイドライン活用に向けて
開催日：2020年11月29日（日）10：20～15：15
開催場所：ZOOM ウェビナーによるオンライン形式
内 容：実践ガイドラインの概要説明と活用のあり方を深めるシンポジウムなど

② 広報部会

- ア 機関紙「点と線」発行 2020 年度 年3回発行
新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言発令下、会員の活動状況、感じたことを発信してきた。また、集合による情報交換が難しい中、オンラインを活用した研修や地域集会等を積極的に紹介した。
- 第103号 <<特集>>外出自粛が必要な中でのソーシャルワーク
・懲戒処分のお知らせ
・社会福祉士のわ ・地域集会 柏・我孫子・野田・流山地区「遠隔道場」
・新理事紹介 わたしがハマっていること ・ブレインストーミング・事務局便り
2020年6月 12頁 2,500部発行
配布 会員数1493(発送1041件、メール配信452件)、関係団体数871件
- 第104号 <<特集>>生きづらさを支えよう
・第一弾「自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会」
・第二弾 ZOOM De 拡大地域集会 「みんなで話そう、つながろう」
・会員外新理事紹介 「社会福祉士会に期待すること」
・DWAT 派遣協定締結・こらむ・社会福祉士のわ・事務局便り
2020年10月 12頁 2,500部発行
配布 会員数1499(発送1050件、メール配信449件)、関係団体数874件
- 第105号 <<特集>>子どもの心を支える～コロナ禍におけるソーシャルワーカーのうごき～
・Zoom 座談会「原点回帰」ソーシャルワークの原点に沿って一年を振り返る
・Zoom インタビュー NGO アドラ 被災地支援
・社会福祉士のわ・コロナ禍に求められるリーダーとは・こらむ・事務局便り他
2021年3月 12頁 2,500部発行
配布 会員数1499(発送1051件、メール配信448件)、関係団体数873件

※ 配布先の関係団体

相談機関窓口や地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、社会福祉士養成校等

イ ホームページの維持・管理

● 研修、求人などの情報提供

イベント掲載 39 件、本会主催の研修 12 件

求人情報 85 件（内 10 件求人取下げもしくは削除）

ウ 広報部会の開催

編集会議、編集作業、発送作業（各年 3 回）

※第 101 号発送作業は障がい者就労支援事業所に委託した。

(2) 総合相談委員会

高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）は、今年度も千葉県から委託を受け研修を実施した。新型コロナウイルスの影響で対面での研修会開催は断念し、事前録画ビデオや Zoom を活用しての研修会開催となった。今年度は講師となる委員でカリキュラム内容全体を見なおし、実際の業務に即した内容の研修となった。また、Zoom を活用した結果、遠方からの参加も容易になったことで前年度までに比べ参加申し込みが多かった。Zoom に接続できる PC 台数を 100 台で準備していたが、それを大幅に上回る申し込み数があり、同一事業所からの申し込みの場合は複数人で PC 1 台の使用をお願いする等の対応を行い、結果、全体で 416 名の参加をいただくことができた。

次年度は高齢者虐待研修だけでなく、委員会の名前に合った活動として、総合相談に携わる社会福祉士を支援できるような内容の活動を検討していきたい。

① 高齢者虐待防止対策研修

ア 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）

● 管理職、初任者向け

開催日：2020 年 11 月 10 日(火) 申込者 127 名、接続台数 92 台

開催方法：事前録画ビデオを視聴およびオンライン研修

● 現任者向け（市町村・地域包括職員向け）

開催日：2021 年 2 月 12 日(金) 申込者 105 名、接続台数 84 台

2021 年 2 月 19 日(金) 申込者 105 名、接続台数 79 台

2021 年 2 月 26 日(金) 申込者 105 名、接続台数 82 台

開催方法：Zoom 使用オンライン研修

● 第 2 回現任者（市町村・地域包括職員向け）高齢者虐待対応ソーシャルワークモデル

開催日：2021 年 3 月 18 日(木) 申込者 184 名、接続台数 92 台

開催方法：Zoom 使用オンライン研修

イ 高齢者虐待対応専門職チームへの参加（受託事業）

今年度もケース会議等に 1 回の派遣を行った

- ・チームメンバー派遣回数
事例加筆修正：0回 個別ケース会議派遣：1回
- ・日本社会福祉士会主催虐待対応専門職チーム経験交流会
開催日：2021年2月20日(土) 参加可能な会員がいなかったため欠席

② 相談事業部会

ア 無料相談事業

今年度は参加の機会がなかったため、実施せず。

③ 委員会の開催

都合がつかず委員全体での部会開催には至らなかったが、研修開催にあたり必要に応じて講師となる委員と SNS や Zoom を活用して開催した。

(3) 研修委員会

研修については、4月7日の緊急事態宣言発出を受け、日本社会福祉士会でも5月いっぱいには研修を行わないとの判断が出ました。その後5月6日に基礎研修Ⅱ・Ⅲの中止、基礎研修Ⅰの延期を理事で決定し、5月10日の理事会で了承を頂き、5月19日に受講予定者に中止を連絡した。

① 委員会・部会会議

2020年6月6日(土) 10:00～ 研修委員会議

出席者：浅見・宮本・宮下・田尻・堀江

基礎研修Ⅰ開催中止とし、他県の開催状況や開催方法について情報収集を行ない、次年度の開催に向けて検討を行なっていく。

2020年6月11日(木) 受講者に基礎研修Ⅰの中止を連絡

2020年7月4日(土) 14:00～15:30 リーダー会議

出席者：宮本・宮下・長嶋・田尻・浅見

今後の研修について、新型コロナウイルスへの対応について

2020年7月15日(水)研修委員会ICTプロジェクトチーム(仮称)立ち上げ

【メンバー】

俵 はるみ 佐藤 滋洋 ○堀江 亜希子 吹野 達也 ○長嶋 祐一 立川大輔
佐藤 裕幸 小野寺 浩 古谷 充 石山 明子 矢戸孝紀 ○田尻真人 野口桂子

2020年8月2日(日) 19:00～21:00 リーダーZoom会議

出席者：宮本・長嶋・田尻・浅見・堀江

・今後の日程の確認・課題の抽出(主催者側と受講者側の両面から)

・基本的な研修の方向性の確認・役割分担

・研修におけるコロナ対策(受講者と主催側の両面からの対策)

2020年8月2日(日) リーダー会議の後

感染症対策班・基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの各班で検討

2020年9月11日(金) リーダーZoom会議

出席者：長嶋・田尻・矢戸・堀江・宮本

各リーダーからの感染症対策及び各研修の方向性の報告及び課題の抽出

2020年9月26日(土) リーダーZoom会議

出席者：長嶋・田尻・矢戸・堀江・宮本

感染症対策の素案の検討・修正

2020年9月30日(水)

堀江理事より三役に11月の実習指導者講習会のための感染症対策に使用するため、以下のことについて了承をお願いする。

- 1 千葉県社会福祉士会新型コロナウイルス感染対策のガイドライン(案)
- 2 「研修・集会等開催における新型コロナウイルス感染症予防対策」(会場用)
- 3 「研修・集会等開催における新型コロナウイルス感染症予防対策」(受講生等用)
- 4 健康チェック表
- 5 新型コロナウイルス等感染症対策のための参集形式による研修及び会議開催におけるガイドライン

2020年10月3日(土)

三役からご意見をいただき承認を得る。

2020年10月4日(日) 全体Zoom会議(13名参加)

会議はリモートによる会議とする。リモート会議の課題の抽出。

実際にプレ研修会を実施し、全員で共有する。

2020年10月21日(水) リーダーZoom会議

出席者：長嶋・田尻・矢戸・堀江・宮本・浅見

11月1日のリモートによるプレ研修会の当日の流れの検討

2020年11月1日(日) リモートZoom会議(13名参加)

リモートによるプレ研修会(会の事務所と各自宅)

その結果による問題点の抽出

2020年11月8日(日) 理事会

研修委員会からの感染症対策の最終版報告と提案

「研修・集会等開催における新型コロナウイルス感染症予防対策」(運営者)

「研修・集会等開催における新型コロナウイルス感染症予防対策」(受講生等用)

千葉県社会福祉士会新型コロナウイルス感染対策のガイドライン

2020年11月～12月

リモートによるプレ研修会の問題点の解決方法や募集文書、日程について検討

2020年12月21日(月) リーダーZoom会議

出席者：田尻・矢戸・堀江

令和3年度基礎研修について

(日程・講師・その他確認事項・この指とまれの検討・プレ研修について)

2021年1月20日(水) リーダーZoom会議

出席者：長嶋・田尻・矢戸・堀江

基礎研修の日程及び講師について・今後の予定

2021年2月3日(水) リーダーZoom会議

出席者：長嶋・田尻・矢戸・堀江

副リーダーについて、どこキャビについて、日程の調整

2021年2月19日(金) リーダーZoom会議

出席者：宮本・浅見・長嶋・田尻・矢戸・堀江

基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの日程の講師の決定 神奈川会野 ZOOM 研修の見学について

2021年3月13日(土) リーダーZoom会議

出席者：田尻・矢戸・堀江・宮本

どこキャビの利用者 10 名、Zoom 管理権限 5 名

研修時(機械操作 3 名、ファシリテーター受講者 6 名に 1 名配置)

次回全体会議の開催内容と日程調整、資料の送付方法

② 研究大会 県民公開講演

中止とした

③ 基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

緊急事態宣言やコロナ禍を考慮して中止とした。なお、予定していた研修は社会福祉士実習指導者研修以外を中止とした。

④ 東京成徳大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣 (2020年度で講座は終了)

大学での教室とオンラインによる授業

全19科目 2020年10月31日(土)～12月12日(土)

講師名(担当科目)

岡本 崇広(児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、相談援助の理論と方法ⅠⅡ、社会理論と社会システム)

立川 大輔(社会保障、現代社会と福祉)

安藤 宏之(低所得者に対する支援と生活保護制度)

相澤 雅則(保健医療サービス、人体の構造及び疾病)

岡田 英明(権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法)

矢戸 孝紀(福祉行財政と福祉計画)

石山 明子(社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職)

竹村 葉子(福祉サービスの組織と経営)

浅見 雅人(高齢者に対する支援と介護保険制度)

犬伏 謙介(更生保護制度)

西澤 将行(障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス)

堀江 亜希子(心理学理論と心理的支援)

2020年12月12日（土）東京成徳大学最終回挨拶

渋沢会長 宮本副会長 堀江理事
新井学長 江間教授 朝比奈准教授

⑤ 和洋女子大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣

大学での教室とオンラインによる授業

全19科目 2020年10月13日（火）～2021年1月12日（火）

講師名（担当科目）

相澤 雅則（保健医療サービス、人体の構造及び疾病）

西澤 将行（障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス）

安藤 宏之（低所得者に対する支援と生活保護制度）

堀江 亜希子（心理学理論と心理的支援）

岡本 崇広（児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、相談援助の理論と方法ⅠⅡ、
社会理論と社会システム）

立川 大輔（社会保障、現代社会と福祉）

岡田 英明（権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法）

犬伏 謙介（更生保護制度）

竹村 葉子（福祉サービスの組織と経営）

石山 明子（社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職）

浅見 雅人（高齢者に対する支援と介護保険制度）

矢戸 孝紀（福祉行財政と福祉計画）

2020年12月15日（火）和洋女子大学挨拶

宮本副会長 浅見前副会長
庄司教授 高木准教授

⑥ 養成・教育機関との連携事業

題 名：卒後教育と人間開発Ⅰ（前半 後半）

開催場所：淑徳大学

外部講師団体 千葉県社会福祉士会・千葉県精神保健福祉士協会

千葉県医療ソーシャルワーカー協会・千葉県弁護士会社会福祉委員会

1. 授業目的

現場実習を終え、社会福祉分野での就職活動と社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験合格にむけた準備を進める卒業年次は、国家資格取得までのモチベーションを保つと同時に、就職先で求められる即戦力（柔軟な思考力、行動力）を養う時期でもある。

そこで、本講座は、社会福祉実践教育（専門）の「総仕上げ」として位置づけ、柔軟な思考力や行動力を養うことを目的に、千葉県社会福祉士会、千葉県精神保健福祉士協会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会に加え、実践現場、マスコミや千葉県弁護士会社会福祉委員会有志弁護士等の協力を得て実施した。

2. 授業内容

本年度は新型コロナウイルス感染症に対応した遠隔授業を行う。前期は担当教員の作成等に

よる教材により実施、後期は、Zoom等を使用した授業を行う。

テーマは、以下の二つである。

一つ目のテーマ（前期）は「様々な職場でのソーシャルワーク実践」を理解、体験することである。事例を用いて、現場のソーシャルワーク実践を学ぶ。

二つ目のテーマ（後期）は「実践とソーシャルワーカー」について考えることである。多職種連携が必須の現代にあつて、関係機関、専門職、行政、さらには住民・住民組織との協働も展開される時代にあつて、講義や事例検討を通してソーシャルワーカーとしての立脚点等を学ぶ。学外講師による講義や事例演習と本学教員によるふりかえりを繰り返して展開される。

3. 授業形態

①学外講師による講義、②各領域による事例演習、③教員によるフィードバックを組み合わせた形態。アクティブラーニングの手法を用いたグループワーク等、学生の主体的な参加による授業の実施。毎回、所定の様式により、リアクションペーパーの提出を求める。

⑦ ジェーシー教育研究所Web模試問題作成

模試問題作成（150問）

国家試験解答分析（速報コメント作成科目） 2021年2月7日～8日

国家試験解答解説（150問） 2021年3月20日（提出）

⑧ 社会福祉士実習指導者研修

開催日：2020年11月22日(日)、11月23日(月)

開催場所：千葉県経営者会館

計2日間 修了者：29名

作成した感染症対策に基づき研修を実施

⑨ 2020年度 全国生涯研修委員会議

2020年10月17日（土）13：00～15：00 Zoom会議

出席者：長嶋・宮本 全国 66名

議 題：

1地域共生社会の実現に向けて社会福祉士の役割と研修について

2グループ討議『生涯研修制度の見直しについて』

3グループ討議『新型コロナウイルスによる研修への対策と影響について』

⑩ 2020年度 基礎研修講師養成研修

2021年2月13日（土）・14日（日）

※今年度はZoom ミーティングにて2日間の開催

出席者：石山・俵・堀江・田尻・矢戸・長嶋・小野寺・立川・宮本・竹村・宮下

⑪ スーパービジョンの支援

スーパービジョンについては、各県士会でスーパーバイザーを把握してスーパービジョン希望の養成にあたるようになってきているが、当会は整備が進んでいない。

そのため、会員が困らぬよう委員会としてスーパーバイザーと希望者とを個別に対応して

いる。 今年度実績 2件

(4) 権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会

2020年度は、コロナ過の中、権利擁護センターぱあとなあ千葉の諸事業は大きな制約を受けたが、オンライン（WEB）での研修、会議、打合せの実施やクラウドシステムの活用により、家庭裁判所等からの後見人等の推薦依頼に対し、登録員の受任調整を行なうとともに、社会福祉士として適切な後見活動ができるよう、登録員の知識・技能及び倫理意識の維持・向上に向けた研修、相談支援等を行なった。また、一般の方に対する成年後見制度利用に関する相談事業等を実施した。

後見人等の推薦依頼件数は402件（前年度426件）、登録員の後見人等の受任中（2021年1月末時点）の総件数は約1600件（前年度約1400件）となっている。

① ぱあとなあ千葉運営委員会

○第1回運営委員会

開催日：2020年6月13日（土）16:00～18:00【ZOOM開催】

出席者：井部、石橋、今川、越後谷、太田、小川、片野、朽名、四ノ宮、中山、古澤、吉田

内 容：・運営委員会の人事、役割分担について

- ・後見人等推薦のための研修受講要件（必須登録員研修年1回、千葉サポート研修年4回）を満たしていない登録員に対する救済措置について
- ・今年度の研修実施予定、実施方法について
- ・電話相談の自宅対応の継続について

○第2回運営委員会

開催日：2020年7月9日（木）16:00～18:30【ZOOM開催】

出席者：運営委員：浅見、石橋、今川、越後谷、太田、岡元、小川、朽名、倉下、佐野、四ノ宮、古澤、吉田／協力員：奥野、片野、亀田

内 容：・運営委員会の人事・役割分担について

- ・各研修の実施予定、実施方法について
- ・ICT化の進め方について

○第3回運営委員会

開催日：2020年7月31日（金）16:00～18:45【ZOOM開催】

出席者：運営委員：浅見、石橋、今川、越後谷、太田、岡元、朽名、倉下、佐野、四ノ宮、古澤、武藤、吉田

内 容：・ささえあい制度報酬助成申請案件（3件）の審議（承認2件、不承認1件）

- ・各研修の実施予定・実施方法、研修受講要件について
- ・家裁、関係機関等からの登録員の後見活動に関する苦情等への対応について

○第4回運営委員会

開催日：2020年9月10日（木）16:00～18:20【ZOOM開催】

出席者：運営委員：石橋、今川、越後谷、太田、岡元、朽名、倉下、佐野、四ノ宮、古澤、武藤、吉田

- 内 容：・今後の研修の実施予定、実施方法について
・研修受講要件について
・未成年後見に関する規程改正について

○第5回運営委員会

開催日：2020年10月29日(木) 16:00~18:00【ZOOM開催】

出席者：浅見、石橋、今川、越後谷、太田、岡元、小川、朽名、倉下、四ノ宮、古澤、武藤、吉田

- 内 容：・2021年度事業計画・予算案について
・必須登録員研修の実施（11月7日ZOOM開催）について
・研修受講要件（サポート千葉研修の参加回数）について

○第6回運営委員会

開催日：2021年1月14日(木) 18:00~20:40【ZOOM開催】

出席者：石橋、今川、越後谷、太田、小川、倉下、佐野、四ノ宮、古澤、吉田

- 内 容：・未成年後見に関する規程改正追加提案について
・新しい報酬助成制度の運用について
・ささえあい制度報酬助成申請案件の審議（承認2件、不承認1件）
・研修の実施予定、実施方法について
・全体会の開催について（理事会で否決された内容について検討）
・2021年度事業計画・予算について

○第7回運営委員会

開催日：2021年3月4日(木) 16:00~18:10【ZOOM開催】

出席者：石橋、今川、越後谷、太田、小川、朽名、倉下、四ノ宮、古澤、吉田

- 内 容：・来年度の後見人等推薦のための研修受講要件について（必須登録員研修年1回、千葉サポート研修年2回以上に決定）
・来年度の研修実施予定、実施方法について
・登録員に対する相談支援体制について
・全体会の開催について（3月27日13時30分~【ZOOM開催】決定）
・家裁からの指摘事項等について
・「登録員のしおり」改定作業について

④ ② 研修部会

必須登録員研修（ばあとなあ千葉登録者 302名）

第1回 2020年6月13日(土) 開催予定 ➡ 中止

第2回 2020年8月1日(土) 開催予定 ➡ 中止

第3回 2020年11月7日(土)【ZOOM：参加者101名】 【YouTube 参加者155名】

「成年後見制度と意思決定支援」 講師：中央大学 小賀野 晶一 氏

レベルアップ研修

第1回 2020年7月12日(日) 参加者 27名 【ZOOM 参加者4名】

「認知症の方の及び終末期における意志決定支援について」

講師：Neighborhood Care 代表理事 吉江 悟 氏

第2回 2020年12月5日(土) ➡ 中止

千葉サポート研修

- 第1回 2020年4月25日(土)開催予定 ➡ 中止
第2回 2020年5月16日(土)開催予定 ➡ 中止
第3回 2020年6月6日(土)開催予定 ➡ 中止
第①回 2020年8月29日(土) 参加者31名(申し込み33名)
「家裁への報告について(受任後の初回報告・1年目の定期報告)」
講師: ぱあとなあ千葉 櫻井 勉
第②回 2020年10月3日(土) 参加者29名(申し込み32名)
「居住用不動産の処分について」 講師: ぱあとなあ千葉 土井 義昭
第③回 2020年11月28日(土) 参加者41名(申し込み42名)
「死後の事務について」 講師: ぱあとなあ千葉 高美 修次
第④回 2020年12月19日(土) 参加者34名(申し込み35名)
「財産管理について」 講師: ぱあとなあ千葉 奥野 不二子
第⑤回 2021年1月23日(土) 参加者27名(申し込み29名) ZOOMでの開催
「身上保護について」 講師: ぱあとなあ千葉 加賀美 和子
第⑥回 2021年2月20日(土) 参加者41名(申し込み45名) ZOOMでの開催
「生活保護について」 講師: 我孫子市役所 鈴木 将人 氏

支援者のための成年後見制度活用講座

2020年9月11日(金)、12日(土) 参加者 30名
講師: 千葉家庭裁判所、千葉県後見支援センター、ぱあとなあ千葉運営委員会

成年後見人材育成研修(委託集合研修)

2020年10月~12月(3日間)実施 参加者 30名(茨城県1名を含む)
講師: 千葉家庭裁判所、リーガルサポート、医師、ぱあとなあ千葉運営委員会
*コロナ禍のため第4日目は、2020年度内に実施できず2021年6月・7月に延期

名簿登録研修

*2021年7月10日(土)に延期 講師: ぱあとなあ千葉運営委員会

弁護士との事例検討会

*2020年度は、コロナ禍のため実施出来ず。

③ コーディネート部会

○今年度のコーディネート状況

- 1) 推薦依頼件数 400件(R3.3.23) / 類型: 後見274件・保佐99件・補助24件・未成年後見3件
- 2) 裁判所支部別

市川	松戸	本庁	佐倉	木更津	一宮	八日市場	館山	佐原
101	91	97	34	26	16	20	13	2

○今年度の取り組み

- 1) コーディネート件数の増加によるコーディネート担当者の負担増加等に対する対策として、コーディネート担当者の増員を図り、地区別担当制(本庁2名、松戸2名、市川2名、県

北1名、県南1名)としたが、1地区の欠員が補充できていない。

- 2) 担当者に対する報酬を、コーディネート件数に応じた報酬とすることとした。
- 3) 登録員に対するサポート体制の拡充として、初任者同行支援・初任者初回報告面談・訪問相談の利用方法・経費・報酬・回数を明文化し、積極的に周知を諮ることとした。
- 4) コーディネート作業の透明化のため、選定候補者(3名以上)、照会内容(候補者へ連絡後の結果)等の記録をクラウドに保存することとした。

○受任要請件数 416件(前年度426件) 家裁推薦案件316件・自薦案件100件
受任件数 403件(前年度412件)

※受任要請件数には、市長村からの要請件数(31件)を含まない。

※要請件数より受任件数が少ないのは、推薦中に本人死亡(1件)・辞退(6件)、推薦不可(6件)があったため。(2021年3月31日現在でのデータ)

○成年後見の受任状況(2021年3月末現在) ぱあとなあ千葉登録員受任活動状況)

登録員数 302名

活動している登録員 239名

今年度受任総数 1,574件(前年度1,407件)

法定後見受任 1,546件(前年度1,377件)

内訳(後見1,112件 保佐375件 補助59件)

任意後見受任 24件(前年度26件)

後見監督人受任 4件(前年度4件)

内訳(後見監督人2件 保佐監督人1件 任意後見監督人1件)

※未成年後見 6件(前年度3件 受任総数外)

※法人後見受任 1件(前年度1件)

④ 業務管理部会

登録員から提出された活動報告書の読み込み・精査及び個別面談などを通じ、登録員への助言・指導、ぱあとなあ名簿に関する業務及び法人後見の実施に関する業務等を実施した。

○受任者面談の実施

開催日:11月から12月(コロナ禍による活動報告書読み込み作業の遅れ等のため実施遅れる)

対象者:当初は30名を面談候補者としたが、最終的には12名の面談実施となる。

課題を抱えている登録員、家裁等からクレームがあった登録員を対象に行った。課題が解決してしまったため面談から外れた登録員もあった。

実施場所:千葉県社会福祉士会事務局会議室他での面談(一部オンライン)を行った。

○受任者面談の結果

- ・後見活動で抱えている課題に関し、可能な範囲での助言を行なった。
- ・家庭裁判所への報告、相談の在り方等についての指導・助言を行なった。
- ・経験の浅い登録員に対する相談支援体制の充実化の必要性が確認された。
- ・多数案件を受任する登録員のリスクマネジメント等の検討の必要性が確認された。

○活動報告書等の管理・読み込み作業

活動報告書等の読み込み作業において、情報漏洩防止や作業効率化に向け、クラウドシステムを活用した。活動報告書の記入漏れや指摘事項について、連絡票を作成し、ぱあとなあ千葉

ニュースに同封し、個別に連絡した。

○法人後見の取組み

1 案件を受任中である。適正に実施している。しかし、法人後見を担う体制が未整備であるため、昨年度より、新たな案件は受任しないこととしている。

⑤ リスクマネジメント部会（活動休止中）

⑥ 独立型社会福祉士委員会準備部会（活動休止中）

⑦ 権利擁護に関する相談事業の推進

◇電話・面接相談（火曜・木曜）

相談件数 194 件（前年度 203 件→電話相談 187 件・面接相談 16 件）

（内訳：電話相談 194 件・面接相談 0 件・・・コロナ禍のため）

◇訪問相談 13 件（前年度 7 件）

⑧ ぱあとなあ千葉ニュース（登録員等会報）の発行

年 4 回発行（4 月・7 月・10 月・1 月）

⑨ 法人後見業務監査委員会 ➡ 開催見送り

⑩ 全体会

開催日：2021 年 3 月 27 日 13:30～15:30 【ZOOM 開催】

内 容：2021 年度事業概況、2021 年度事業計画等に関する報告及び意見交換

⑪ 登録会員数（2020 年度）4 月 1 日

登録員数： 306 名（前年度 256 名）

新規登録員数： 50 名（前年度 17 名）

登録抹消数： 3 名（前年度 9 名）

県外転出： 1 名（前年度 1 名）

準登録員数： 67 名（前年度 55 名）

⑫ 運営委員会構成（部会内氏名：五十音順・敬称略）

運営委員長：四ノ宮章

副運営委員長：古澤肇、吉田愛子

リスクマネジメント部会長：（仮）四ノ宮章

研修部会：部会長 小川晴雄

部会員（運営委員）越後谷恒春、太田和美、岡元千秋、朽名高子、佐野由佳里

（協力員）亀田和子、篠田仁美、中山雄司、服部明

コーディネート部会：部会長 石橋大輔

部会員（運営委員）越後谷恒春、朽名高子、倉下貞一、四ノ宮章、吉田愛子

（協力員）犬伏健介、井部泰子

業務管理部会：部会長 吉田 愛子

部会員（運営委員）浅見雅人、小川晴雄、四ノ宮章、古澤肇、武藤州範

（協力員）片野無事生、櫻井勉、福島節子

リスクマネジメント部会：部会長（仮） 四ノ宮章

報酬助成審査会：部会長 四ノ宮章

部会員 （運営委員）古澤肇、吉田愛子、太田和美
（協力員）奥野 不二子

独立型社会福祉士部会準備会 部会長（仮）四ノ宮章

未成年後見担当：（運営委員）今川純子、岡元千秋、吉田愛子

会計担当：（運営委員）吉田愛子 （協力員）篠田仁美

広報担当：（協力員）福島節子

渉外・ソーシャルアクション担当：（運営委員）今川純子 （協力員）遠坂貴志

ICT担当：（運営委員）古澤肇、太田和美

（5） 司法福祉委員会

2020年度刑事司法ソーシャルワーカー養成講座（基礎編・応用編）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

2021年度は日本社会福祉士会認定機構への研修申請が3年毎の見直しにあたり、刑事司法ソーシャルワーカー実務研修（基礎編・応用編）と変更して新規申請した。この講座は、千葉県弁護士会と千葉県社会福祉士会の共催となっている。この講座を修了するとメーグリストに登録することができる。千葉県社会福祉士会が弁護士からの依頼を受け、司法福祉委員会のマッチング支援で受任した司法福祉委員は弁護士と協同し障害者・高齢者の入口支援に関わっている。

このメイン事業を充実させるために、マッチング支援事業や学習会を設け研鑽を積んでいる。

① 運営委員会の開催

第1回

開催日：2020年7月11日（土）10：00～12：00

内容：司法福祉委員会新旧会長引継ぎ

第2回

開催日：2020年8月22日（土）13：00～15：00

内容：第1回司法福祉委員会、委員会構成説明、受任報告

第3回

開催日：2020年10月3日（土）10：00～11：45

内容：日本社会福祉士会認定機構への新規研修申請について

第4回

開催日：2020年12月20日（土）10：00～11：45

内容：認定研修の研修内容と講師について

Zoom研修について

学習会について

第5回

開催日：2021年3月20日（土）10：00～12：00

内容：第2回司法福祉委員会

2020年度の活動内容と2021年度の計画

② マッチング支援

今年度の受任件数は6件で、うち1件は相談のみである。

③ 学習会

開催日：2021年2月20日（土）（10：00～12：00）

内容：マッチング支援の流れ

刑事事件手続きの流れ

受任案件報告

④ その他

日本福祉大学より研究への協力依頼

「刑事裁判の弁護士と社会福祉専門職との連携について調査協力依頼」に解答した。

(6) 災害対策委員会

① 災害発生時の支援活動

2020年7月3日からの大雨では、西日本及び九州各県で甚大な被害が生じた。またその後7月25日の埼玉県三郷市の竜巻、7月28日からの東北地方での大雨により被害が生じた。

これらの被災地では、新型コロナウイルス感染の懸念から、ボランティアの募集範囲を県内・市町村内に原則限定していた。2020年度、当会会員が被災地における支援活動を行うことはなかった。

② 日本社会福祉士会主催 都道府県社会福祉士会災害担当者会議

災害発生時に、都道府県社会福祉士会が主体となり行う被災地における生活支援へのアプローチや方法、日本社会福祉士会の関わり方を改めて検討するために、全国都道府県社会福祉士会災害担当者会議が2020年10月24日に開催され、各種報告や意見交換が行われた。

当会からは、服部明災害対策副委員長が出席し、『2019年台風15号などに対する災害支援活動』の報告を行った。またその他、長野県社会福祉士会および熊本県社会福祉士会から報告があった

③ 関東甲信越ブロック社会福祉士会災害対策担当者会議

大規模災害時に近隣社会福祉士会との連携は重要であり、関東甲信越ブロック社会福祉士会災害対策担当者会議に参加し、それぞれの社会福祉士会における災害対策委員会の活動状況を報告するとともに、災害発生時における連携について議論を深めた。

④ 千葉県災害ボランティアセンター連絡会における連携

～9都県市合同防災訓練関東甲信越ブロック社会福祉士会災害対策担当者会議

大規模災害が発生した場合に、千葉県社会福祉協議会が中心になって組織する千葉県災害ボランティアセンターにおける活動は、社会福祉士としての役割を果たすうえで極めて重要であることから、同センターに加入する他団体と災害時の役割等について意見交換を行い、併せて、同センターが実施した研修会及び9都県市合同防災訓練等に参加し、災害時の役割等について確認・習熟を図った。

⑤ 千葉県災害福祉支援チーム（DWAT）

2020年7月30日、千葉県災害福祉支援チームの派遣に関する基本協定締結式が行われた。

千葉県ホームページに、『千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)の派遣に関する協定の締結について』として掲載されている。

千葉県災害福祉支援チーム（DWAT）設置運営要領およびマニュアル作成を主な議題とするワーキンググループが計4回開催された。それぞれ完成し、千葉県ホームページに掲載されてい

る。

(7) 倫理委員会

2020年度は1件の苦情申立があり、倫理委員会にて審査の開始について検討した結果、事案の性質、苦情申立者の要望等諸事情を勘案し以下のような結論に達した。

1. ぱあとなあ千葉からの被申立人への助言、指導等によるトラブルの解決を図ることを優先すべきである。
2. 審査を開始するか否かの決定については一旦保留し、ぱあとなあ千葉による助言、指導等の結果を待って、改めて審査の開始をするか否かについて検討決定する。

その後、申立人から苦情申立の取下げがあり当案件は終結した。

(8) 社会福祉士ささえあい制度配分委員会

- ① 2020年11月2日に第1回配分委員会を開催し、3件の申請のうち2件を可とし、下記の配分金額を決定した（第5回理事会承認）。

配分先	配分金額	内容
ぱあとなあ千葉	70,000円×1件=70,000円	無報酬後見人案件
ぱあとなあ千葉	120,000円×1件=120,000円	無報酬補助人案件
合計	190,000円	2件

- ② 2021年1月12日に第2回配分委員会を開催し、3件の申請のうち2件を可とし、下記の配分金額を決定した（第6回理事会承認）。

配分先	配分金額	内容
ぱあとなあ千葉	120,000円×2件=240,000円	無報酬後見人案件
合計	240,000円	2件

合計 ①+②=430,000円

(配分委員会構成員) ◎委員長

◎古澤 肇 (理事) 浅見 雅人 (研修委員会)
太田 和美 (総務委員会) 谷口 さなえ (総合相談委員会)
吉田 愛子 (司法福祉委員会) 服部 明 (災害対策委員会)

(9) 松戸市居住の安定確保支援事業業務委託

2016年度より松戸市から委託を受けている本事業も4年目が終わり、常勤の居宅移行支援員1名と非常勤の居宅移行支援員1名を事業課である松戸市役所生活支援課内に配置し、市内だけでなく市外の無料低額宿泊所等に入所している生活保護受給者に対しても新型コロナウイルスの感染拡大の状況で、相談などに大変さがある中、積極的に支援を進めてきた。

業務の内容は、無料低額宿泊所等へ長期にわたって入所している状態にある生活保護受給者

を対象として、民間賃貸住宅または社会福祉法に規定する事業を行うための施設等への入所を促進させ、入居後も地域で安定した生活を維持し円滑に定着できるよう継続して支援し、もって自立を促していくことである。

4年目の今年度は、事業課である生活支援課や市内の無料低宿泊所を担当する当会に所属する社会福祉士との連携により、支援目標数の18名を上回り21名が居宅への移行（転居）を完了した（内訳は市内2施設16名、市外5施設5名）。

また、対象者も昨年に引き続き複雑な問題を抱えた若い世代へと変化してきており、就労の問題が課題となってきた。また、居宅移行をしても入れ替わりに新たな人が施設に入居してくるため、2021年度も引き続き市内外の施設入居者の居宅移行への支援を行っていく。

委託期間：自2020年4月1日至2021年3月31日 委託金額：13,240,731円

2020年度当期一般正味財産増減額(収支計算書)

2020年4月1日～2021年3月31日

(単位:円)

科目	R2予算収入 (補正後)	R2予算支出 (補正後)	R2 決算額収入	R2 決算額支出	収入-支出 (決算)	予算収入- 決算収入	予算支出- 決算支出	備考		
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)		(収入)	(支出)			
1	会費		26,973,000	8,316,000	25,750,000	8,232,620	17,517,380	1,223,000	83,380	
1	会費		23,743,000	7,875,000	22,634,000	7,545,000	15,089,000	1,109,000	330,000	
	1	正会員	23,725,000	7,875,000	22,610,000	7,545,000	15,065,000	1,115,000	330,000	のべ1507名(2021年3月31日現在 内、新入会63名)ほか
	2	準会員	6,000	0	12,000	0	12,000	△ 6,000	0	2000円×6名
	3	賛助会員	12,000	0	12,000	0	12,000	0	0	10000円×1社、2000円×1名
	4	負担金	0	0	0	0	0	0	0	
	5	入会金	0	0	0	0	0	0	0	正会員会費に繰り入れ
2	ばあとなあ登録料		3,230,000	441,000	3,116,000	687,620	2,428,380	114,000	△ 246,620	
	1	ばあとなあ名簿登録料	3,150,000	441,000	3,050,000	687,620	2,362,380	100,000	△ 246,620	名簿登録員305名×10000円、306名 ×2,245円
	2	ばあとなあ準会員登録料	80,000	0	66,000	0	66,000	14,000	0	延べ66名×1,000
2	事業費		21,982,441	22,396,956	21,806,799	18,721,491	3,085,308	175,642	3,675,465	
1	総務事業		0	978,000	3,468	979,921	△ 976,453	△ 3,468	△ 1,921	
	1	企画部会運営費	0	25,000	0	8,316	△ 8,316	0	16,684	
	2	SW3団体及びその他職能 団体との協働事業費	0	0	0	0	0	0	0	
	3	福祉地域交流促進事業費	0	25,000	0	61,523	△ 61,523	0	△ 36,523	地域集会議師料、会場費補助、世話 人会
	6	広報誌作成費	0	831,000	3,468	843,866	△ 840,398	△ 3,468	△ 12,866	広報誌年3回発行、パンフレット
	8	広報部会運営費	0	89,000	0	57,552	△ 57,552	0	31,448	
	9	WEB維持管理費	0	8,000	0	8,664	△ 8,664	0	△ 664	ホームページの維持経費
2	総合相談事業		1,485,900	1,362,000	1,501,190	376,333	1,124,857	△ 15,290	985,667	
	1	総合相談委員会運営費	0	54,000	0	0	0	0	54,000	
	2	高齢者虐待防止対策研修会 (県事業)	1,479,000	1,240,000	1,479,000	362,018	1,116,982	0	877,982	千葉県委託事業
	3	高齢者虐待対応専門職チー ム	6,900	0	22,190	14,315	7,875	△ 15,290	△ 14,315	
	4	無料相談事業	0	38,000	0	0	0	0	38,000	県民及び学生等対象
	5	こどもに関する取組	0	30,000	0	0	0	0	30,000	
	6	千葉県高齢者虐待対応マ ニュアル改訂事業	0	0	0	0	0	0	0	
3	研修事業		4,065,900	2,412,000	4,124,700	2,394,558	1,730,142	△ 58,800	17,442	
	1	研修委員会運営費	2,300	150,000	2,300	138,018	△ 135,718	0	11,982	
	2	県民公開講座(研究大会・総 会)	0	0	0	0	0	0	0	
	3	基礎研修Ⅰ	32,200	0	32,200	3,192	29,008	0	△ 3,192	2020年度開催中止
	4	基礎研修Ⅱ	230,000	0	230,000	19,090	210,910	0	△ 19,090	2020年度開催中止
	5	基礎研修Ⅲ	195,500	0	195,500	19,954	175,546	0	△ 19,954	2020年度開催中止
	6	ジェイシー教育研究所web模 試・問題作成	1,510,600	1,070,000	1,569,400	1,071,612	497,788	△ 58,800	△ 1,612	
	7-1	社会福祉士取得支援講座 (和洋女子大学)	757,500	350,000	757,500	318,346	439,154	0	31,654	
	7-2	社会福祉士取得支援講座 (東京成徳大学)	600,000	300,000	600,000	318,346	281,654	0	△ 18,346	
	8	実習指導者講習会	405,600	317,000	405,600	306,842	98,758	0	10,158	
	10	淑徳大学講師派遣	332,200	225,000	332,200	199,158	133,042	0	25,842	
	12	社会福祉士ワンアップ研修 (基礎研修終了者)	0	0	0	0	0	0	0	
	13	社会福祉士ファシリテーター 研修	0	0	0	0	0	0	0	
	14	グループワーク研修	0	0	0	0	0	0	0	
	15	ケアマネジメント研修	0	0	0	0	0	0	0	
	16	先輩SWへの学び研修	0	0	0	0	0	0	0	
4	ばあとなあ千葉運営事業		3,041,700	4,869,956	2,811,700	3,907,069	△ 1,095,369	230,000	962,887	
	1	ばあとなあ委員会運営費	0	396,500	13,800	232,838	△ 219,038	△ 13,800	103,662	
	2	部会交通費	0	0	0	0	0	0	0	
	3	相談事業	0	431,328	0	386,086	△ 386,086	0	45,242	電話相談、訪問相談
	4	成年後見制度活用講座	301,600	217,128	301,600	241,085	60,515	0	△ 23,957	
	5	成年後見人材育成研修(委 託研修)	1,722,500	581,000	1,672,500	705,130	967,370	50,000	△ 124,130	
	6	法人後見事業	236,700	251,000	267,700	248,464	19,236	△ 31,000	2,536	法人後見1件
	7	活動報告書読み込み作業	0	632,000	0	624,796	△ 624,796	0	7,204	
	9	渉外・ソーシャルアクション	0	92,000	0	50,368	△ 50,368	0	41,632	リーフレット、家裁、他団体、市町村へ
	10	委任者面接	0	170,000	0	88,638	△ 88,638	0	81,362	
	11	ばあとなあ千葉ニュース	0	253,000	0	229,306	△ 229,306	0	23,694	年4回発行
	12	コーディネート会議	0	993,000	0	687,756	△ 687,756	0	305,244	
	13	名簿登録研修	180,000	163,000	0	0	180,000	163,000	2020年度開催中止	
	14	必須登録員研修	279,000	240,000	279,000	191,638	87,362	0	48,362	
	15	千葉サポート	224,900	150,000	223,900	150,008	73,892	1,000	△ 8	

科目			R2予算収入 (補正後)	R2予算支出 (補正後)	R2 決算額収入	R2 決算額支出	収入-支出 (決算)	予算収入- 決算収入	予算支出- 決算支出	備考
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	(収入)	(支出)		(収入)	(支出)	
	16	レベルアップ研修	53,200	100,000	53,200	53,456	△ 256	0	46,544	
	17	家裁事務報告書指導	0	0	0	0	0	0	0	
	18	テーマ別弁護士との事例検討会	13,800	110,000	0	0	0	13,800	110,000	2020年度開催中止
	19	独立系社会福祉士事業サポート →独立系社会福祉士協会準備会	30,000	31,000	0	0	0	30,000	31,000	
	20	関東甲信越ブロック連絡会	0	0	0	0	0	0	0	
	21	ばあとなあ干業全体会	0	39,000	0	17,500	△ 17,500	0	21,500	
	22	個人情報保護 相談委託業務	0	0	0	0	0	0	0	
	23	リスクマネジメント部会	0	48,000	0	0	0	0	48,000	
	24	[2020新規]未成年後見	0	32,000	0	0	0	0	32,000	
5		司法福祉	78,200	130,000	78,200	60,640	17,560	0	69,360	
	1	司法福祉委員会運営費	78,200	90,000	78,200	60,640	17,560	0	29,360	
	2	司法福祉学習会	0	40,000	0	0	0	0	40,000	
	3	刑事司法SW養成講座(基礎)	0	0	0	0	0	0	0	2020年度開催中止
	4	刑事司法SW養成講座(応用編)	0	0	0	0	0	0	0	2020年度開催中止
	5	マッチング支援	0	0	0	0	0	0	0	
6		災害対策	0	90,000	0	74,206	△ 74,206	0	15,794	
	1	千葉県社会福祉士会災害対策委員会	0	90,000	0	74,206	△ 74,206	0	15,794	災害対策他団体会議、交通費等
	2	災害対策研修	0	0	0	0	0	0	0	
7		その他	13,310,741	12,555,000	13,287,541	10,928,764	2,358,777	23,200	1,626,236	
	1	千葉県社会福祉士会倫理委員会	0	300,000	0	162,710	△ 162,710	0	137,290	
	2	社会福祉士ささえあい制度配分委員会	0	72,000	0	30,084	△ 30,084	0	41,916	
	3	選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0	0	
	4	法人後見監査業務委員会	0	87,000	0	0	0	0	87,000	
	5	居住確保支援事業	13,240,741	12,000,000	13,240,741	10,619,858	2,620,883	0	1,380,142	
	6	千葉県生涯研修センター	0	36,000	0	0	0	0	36,000	
	7	社会福祉士会活性化事業	0	0	0	73,912	△ 73,912	0	△ 73,912	自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会
	8	講師派遣事業	70,000	60,000	46,800	42,200	4,600	23,200	17,800	講師派遣
3		事務費	0	20,831,000	0	19,328,772	△ 19,328,772	0	1,502,228	
	1	消耗品費	0	680,000	0	526,696	△ 526,696	0	153,304	会員管理用事務消耗品代
	2	印刷製本費	0	700,000	0	622,639	△ 622,639	0	77,361	総会資料、封筒、コピー機カウンター
	3	通信運搬費	0	1,080,000	0	1,017,737	△ 1,017,737	0	62,263	電話使用料、クラウド使用料、切手代郵送料等、
	4	慶弔費	0	20,000	0	10,000	△ 10,000	0	10,000	
	5	賞金等	0	12,700,000	0	11,685,443	△ 11,685,443	0	1,014,557	常勤契約3名、パート2名(通勤費合)
	6	法定福利費	0	1,500,000	0	1,742,953	△ 1,742,953	0	△ 242,953	賞金等より(社保・労働保険料)
	7	水道光熱費	0	140,000	0	134,640	△ 134,640	0	5,360	
	8	賃借料	0	1,750,000	0	1,630,546	△ 1,630,546	0	119,454	事務局賃料、コピー機等リース(保守料含む)、PCリース
	9	委託料	0	850,000	0	915,962	△ 915,962	0	△ 65,962	税理士、新入会セット(日本会)1,000円×63名
	10	役員報酬	0	900,000	0	692,500	△ 692,500	0	207,500	理事会、総会、三役会、外部会議出席
	11	役員旅費	0	100,000	0	88,126	△ 88,126	0	11,874	
	12	役員選挙事務費	0	0	0	0	0	0	0	
	13	保険料	0	41,000	0	40,000	△ 40,000	0	1,000	
	14	会議費	0	20,000	0	0	0	0	20,000	
	15	諸会費	0	50,000	0	25,000	△ 25,000	0	25,000	
	16	雑費	0	300,000	0	196,530	△ 196,530	0	103,470	
4		受取補助金等	2,799,417	0	2,799,417	0	2,799,417	0	0	
5		寄付金	0	0	0	10,000	△ 10,000	0	△ 10,000	
6		繰越金	0	0	0	0	0	0	0	
7		雑収入	0	0	100,491	0	100,491	△ 100,491	0	
8		租税公課	0	700,000	0	635,400	△ 635,400	0	64,600	
9		敷金支出	0	0	0	0	0	0	0	
10		予備費	0	1,000,000	0	254,100	△ 254,100	0	745,900	固定資産(器具備品)
11		配分金	0	600,000	0	430,000	△ 430,000	0	170,000	ささえあい配分金より
		合計	51,754,858	53,843,956	50,456,707	47,612,383	2,844,324	1,298,151	6,231,573	
		当期一般正味財産増減額		△ 2,089,098		2,844,324			△ 4,933,422	

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	49,428,995	47,584,553	1,844,442
未収入金	3,989,486	2,562,823	1,426,663
貯蔵品	53,818	48,522	5,296
前払費用	93,774	93,774	0
預け金	136,400	136,686	△ 286
仮払金	0	0	0
流動資産合計	53,702,473	50,426,358	3,276,115
2. 固定資産			
(1) 固定資産			
器具及び備品	254,100	0	254,100
敷金	920,700	920,700	0
固定資産合計	1,174,800	920,700	254,100
3. 基本財産			
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
資産合計	56,877,273	53,347,058	3,530,215
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,056,467	1,562,602	493,865
預り金	244,339	305,413	△ 61,074
仮受金	0	1,000	△ 1,000
流動負債合計	2,300,806	1,869,015	431,791
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,300,806	1,869,015	431,791
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
2. 一般正味財産	52,576,467	49,478,043	3,098,424
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	54,576,467	51,478,043	3,098,424
負債及び正味財産合計	56,877,273	53,347,058	3,530,215

正味財産増減計算書

自 2020(R2)年4月1日 至 2021(R3)年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①会費収入	22,634,000	22,819,000	△ 185,000
②ばあとなあ名簿登録料	3,116,000	2,695,000	421,000
③事業収入	20,598,131	27,842,672	△ 7,244,541
④受取補助金	4,004,617	100,000	3,904,617
⑤寄付金	0	0	0
⑥雑収入	103,959	101,766	2,193
経常収益計	50,456,707	53,558,438	△ 3,101,731
(2) 経常費用			
①会費支出	8,232,620	8,261,800	△ 29,180
②事業費	18,721,491	26,432,459	△ 7,710,968
③管理費	19,338,772	19,142,626	196,146
経常費用計	46,292,883	53,836,885	△ 7,544,002
当期経常増減額	4,163,824	△ 278,447	4,442,271
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①法人税等	635,400	782,050	△ 146,650
②配分金	430,000	1,020,000	△ 590,000
経常外費用計	1,065,400	1,802,050	△ 736,650
当期経常外増減額	△ 1,065,400	△ 1,802,050	736,650
当期一般正味財産増減額	3,098,424	△ 2,080,497	5,178,921
一般正味財産期首残高	49,478,043	51,558,540	△ 2,080,497
一般正味財産期末残高	52,576,467	49,478,043	3,098,424
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	54,576,467	51,478,043	3,098,424

現金預金明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千葉銀行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3056203	6,628,771	
千葉銀行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3067795	11,511,798	居住確保支援事業
ゆうちょ銀行	普通預金 No. 10520-90294141	8,150,151	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-0-713799	13,512,200	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-6-569895	2,866,289	社会福祉士ささえあい制度用
千葉銀行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(2)	6,749,814	基本財産を除く
現金		9,972	
合 計		49,428,995	

未収入金明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金 額	摘 要
千葉県	1,379,290	高齢者虐待対応研修委託料ほか
松戸市	1,103,394	居住確保支援事業
JC教育研究所	599,500	国試解答解説ほか
千葉労働局	582,302	雇用調整助成金
ばあとなあ千葉名簿登録員	325,000	ばあとなあ2020年度WEB研修受講料 (必須登録員研修、千葉サポート)
合 計	3,989,486	

貯蔵品明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金 額	摘 要
切手代他	53,818	
合 計	53,818	

前払費用明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金 額	摘 要
ファーストコーポレーション株式会社	93,774	賃料他4月分
合 計	93,774	

預け金明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
千葉県	136,400	高齢者虐待対応研修契約保証金
合 計	136,400	

敷金明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
ファーストコーポレーション株式会社	920,700	敷金
合 計	920,700	

基本財産明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千葉銀行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(1)	2,000,000	基本財産
合 計		2,000,000	

未払金明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職 員	1,477,209	3月分給与ほか
日本社会福祉士会	30,000	人材育成研修負担金
ヤマハYVC	254,100	WEBカメラほか
KDDIほか	104,246	通信費
講師スタッフほか	190,912	人材育成研修2020年度4日目謝金ほか
合 計	2,056,467	

預り金明細表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職員・講師他	244,339	源泉所得税
合 計	244,339	

雑収入明細表

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
受取利息	1,068	
事務受託費等	102,891	一般社団法人 千葉県医療ソーシャルワーカー協会 一般社団法人 千葉県精神保健福祉士協会ほか
合 計	103,959	

事業収入明細表

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日


(単位:円)


相手先名	金額	摘要
千 葉 県	1,379,290	高齢者虐待防止対策研修ほか
淑徳大学 和洋女子大学 東京成徳大学	1,600,000	社会福祉士取得支援
ジェイシー教育研究所	1,449,800	社会福祉士養成事業
松 戸 市	13,240,741	居住確保支援事業
合 計	17,669,831	

監査報告書

令和3年5月9日

一般社団法人千葉県社会福祉士会
会長 渋沢 茂 様

監事 山口 定之 

監事 市原 久夫 

私ども監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度における監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査のため、帳簿、書類を閲覧し、計算書類について慎重に検討を加え、必要と思われる実査、立会、照合、理事からの報告聴取その他の合理的方法を用いて調査した。監査当日の立会は会長、事務局長、事務局員が行った。
- (2) 会計以外の業務遂行を監査するため、理事会その他の重要会議に出席し、理事からの事業報告を聴取し、決裁書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて調査した。

2. 各会計及び財産の確認

- (1) 一般会計の預金の年度末残高は、千葉銀行、ゆうちょ銀行の預金通帳をもってそれぞれ確認した。
- (2) 諸帳簿及び証拠書類は、適正に保管されていることを確認した。

3. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び財産目録、収入支出計算書は会計帳簿の記載と合致し法令及び定款ならびに諸規程に従って会の財産及び収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 理事の職務遂行に関する不正の行為または法令、定款及び規約に違反する事実は認められない。

議案第2号

規則第2号会費等に関する規則の変更について

次ページに掲載する、一般社団法人千葉県社会福祉士会の会費等に関する規則について、総会の承認を求めます。

(提案理由)

- 日本社会福祉士会「財政基盤の確保及び事務局体制の強化に向けた提案書」(1)入会促進及び退会抑制について①若年層の入会金及び年会費の免除をうけて、30歳以下を対象として、入会金及び年会費を入会年度に限り無料とするため。
- 大学を卒業して間もない若年層は収入が少なく、かつ試験合格時は社会福祉士登録費用(登録免許税15,000円、登録料4,050円)もかかることから、そのことを考慮し入会年度に限り会費を減免するため。

旧（現行）	新（改正案）
<p>一般社団法人千葉県社会福祉士会の会費等に関する規則</p> <p style="text-align: right;">規則第 2 号 ＜制定＞平成 24 年 10 月 28 日</p> <p>第 1 条（略）</p> <p>第 2 条 定款第 6 条第 2 項に規定する正会員の入会金の額は 5,000 円とする。</p> <p>（会費）</p> <p>第 3 条 定款第 5 条第 1 項第 1 号に規定する正会員の会費は、年間 15,000 円とする。但し、新規入会者の会費については、初年度に限りこれを年間 10,000 円とする。</p> <p>2 定款第 5 条第 1 項第 2 号に規定する準会員の会費は、年間 2,000 円とする。</p> <p>3 定款第 5 条第 1 項第 3 号に規定する賛助会員の会費は、法人の場合は年間 1 口 10,000 円、個人の場合は年間 1 口 2,000 円とし、各々 1 口以上の会費を必要とするものとする。</p> <p>4 一旦納入された会費は、本会の責に帰する原因のある場合を除き、これを返還しないものとする。</p>	<p>一般社団法人千葉県社会福祉士会の会費等に関する規則</p> <p style="text-align: right;">規則第 2 号 ＜制定＞平成 24 年 10 月 28 日</p> <p>第 1 条（略）</p> <p><u>（入会金）</u></p> <p>第 2 条 定款第 6 条第 2 項に規定する正会員の入会金の額は 5,000 円とする。</p> <p><u>2 入会年度において満 30 歳を超えない者は入会金を免除する。</u></p> <p>（会費）</p> <p>第 3 条 定款第 5 条第 1 項第 1 号に規定する正会員の会費は、年間 15,000 円とする。但し、新規入会者の会費については、初年度に限りこれを年間 10,000 円とする。</p> <p><u>2 入会年度において満 30 歳を超えない者は当該年度の年会費を免除する。</u></p> <p><u>3 定款第 5 条第 1 項第 2 号に規定する準会員の会費は、年間 2,000 円とする。</u></p> <p><u>4 定款第 5 条第 1 項第 3 号に規定する賛助会員の会費は、法人の場合は年間 1 口 10,000 円、個人の場合は年間 1 口 2,000 円とし、各々 1 口以上の会費を必要とするものとする。</u></p> <p><u>5 一旦納入された会費は、本会の責に帰する原因のある場合を除き、これを返還しないものとする。</u></p> <p>第 4 条～第 5 条（略）</p>

議案第3号

規則第6号正会員に対する苦情に関する手続規則の変更について

次ページに掲載する、一般社団法人千葉県社会福祉士会正会員に対する苦情に関する手続規則について、総会の承認を求めます。

(提案理由)

- 被申立人の不服申立又は申立人の再審査請求にあたり、再々審査、再度の不服申立ができるように読み取ることもできるため
- 調査委員を調査員に統一するため

旧（現行）	新（改正案）
<p>一般社団法人千葉県社会福祉士会 正会員に対する苦情に関する手続規則 規則第6号 令和元年6月23日制定</p> <p>第1条～第6条（略） （苦情申立対応機関）</p> <p>第7条 第1項～第4項（略）</p> <p>4 苦情調査機関とは、調査委員をいう。調査委員は、苦情申立書に記載された事実の内容及びその事実の有無に関する調査を行い、調査報告書を作成する。</p> <p>第8条～第13条（略） （審査及び報告）</p> <p>第14条 倫理委員会は、調査委員から提出された調査に関する報告書、及び被申立人の弁明の結果をもとに審査及び審議を行い、その経過及び結果につき報告書を作成し、会長に報告する。</p> <p>第2項～第3項（略）</p> <p>第15条～第18条（略）</p> <p>（再度の審査）</p> <p>第19条 被申立人の不服申立による再度の審査の手続きは第14条乃至第16条を準用する。</p> <p>第20条～第24条（略）</p>	<p>一般社団法人千葉県社会福祉士会 正会員に対する苦情に関する手続規則 規則第6号 令和元年6月23日制定</p> <p>第1条～第6条（略） （苦情申立対応機関）</p> <p>第7条 第1項～第4項（略）</p> <p>4 苦情調査機関とは、<u>調査員</u>をいう。<u>調査員は、別に定める一般社団法人千葉県社会福祉士会苦情調査実施規程に基づき、</u>苦情申立書に記載された事実の内容及びその事実の有無に関する調査を行い、調査報告書を作成する。</p> <p>第8条～第13条（略） （審査及び報告）</p> <p>第14条 倫理委員会は、調査員から提出された調査に関する報告書、及び被申立人の弁明の結果をもとに審査及び審議を行い、その経過及び結果につき報告書を作成し、会長に報告する。</p> <p>第2項～第3項（略）</p> <p>第15条～第18条（略）</p> <p>（再度の審査）</p> <p>第19条 被申立人の不服申立<u>又は申立人の再審査請求による再度の審査の手続きは第11及び条第14条乃至第16条を準用する。</u></p> <p><u>2 前項で準用する第11条第1項の審査を開始する又は開始しない旨の決定に対する申立人及び被申立人による異議申立てはできない。</u></p> <p>第20条～第24条（略）</p>

一般社団法人 千葉県社会福祉士会

2021 年度事業計画および予算

※2019 年度より、事業計画および予算については、理事会承認となりました。
2020 年度第 8 回理事会（2021 年 3 月 21 日開催）で承認された、
2021 年の事業計画および予算について、報告いたします。

(1) 基本活動方針

2021年4月から重層的支援体制整備事業が始まります。令和2年度まで行っていた、地域共生モデル事業等而下敷きにしなが、市町村全体で包括的な支援体制の構築を進めることをめざすものです。相談支援事業、参加支援事業、地域づくり支援事業を一体的に実施することとされ、千葉県内でも複数の自治体がモデル事業を行うことを予定しています。国は「この事業は一つの提案に過ぎないと思っている。より実践的な方法があれば提案してほしい。」と言っており、モデル事業の実践を見守りながら既存の総合相談のあり方も含めて、相談支援のあり方を整理する必要があります。

コロナ禍が始まって1年以上が過ぎました。人と会うことが制限され、飲食業等の営業が自粛、経済的に困窮される方が増加しました。福祉の現場でも影響は小さいものではありません。医療機関や生活困窮相談機関等は繁忙を極めています。社会生活が制限されて孤立や巣ごもりが際立っている方もいます。対面での会合が縮小されて、創造的な取り組みが行いにくくなっているようにも思います。このような中でも私たちの活動を継続させていくために取り組む必要があります。

財政面では、新年度予算を大幅な赤字予算で計上せざるを得なくなりました。健全な予算の執行のために、収入と支出の全ての項目を見直しなが、会の目的やあり方を考え直す必要があります。

千葉県社会福祉士会は発足以来、日常生活や介護のことなど、生活の困りごとが起きたときに「福祉の道案内役」として県民の皆様役に役立ててもらえるよう、活動しています。

成年後見制度の利用促進に関すること、スクールソーシャルワーカーのこと、会員の活動参加の推奨、研修の充実等、時世に応じた活動に取り組めます。

司法や医療、教育等の他分野との協働を継続しながら、会員内外の方の思いを組み入れた活動に取り組み、より魅力的な会になるよう努めます。

(2) 2021年度重点事業内容

- I. 総合相談のあり方を検証しながら、ソーシャルワークの実践のあり方を検討する。
- II. 会のあり方を検証して永続できる会の運営を検討する。
- III. 災害時に必要な支援を整理して日頃の連携を構築する。
- IV. 司法、教育、医療等の他分野と協働での活動を進める。
- V. 研修はWEB等を使用し会員の知識及び技術並びに倫理及び資質の向上に資するよう活動を進める。
- VI. 成年後見制度の適正な利用について会として関与する。
- VII. 会員相互の更なるつながりと本会の活性化・発展を図る為の場所や機会を積極的に提供する。

(3) 各委員会・部会

(1) 総務委員会
活動方針
<p>〔委員会の活動目的〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員同士がゼネラルにつながることによるメゾレベルでの福祉向上・社会変革 ・他の職能団体との協働による組織強化 <p>〔これまでの実績と今後の課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに全 14 地区中 8 地区で地域世話人が実施してきたが、コロナ禍により開催が滞ってしまった（我孫子・柏・流山・野田を除き）。再開を促すとともに今後の地域集会のあり方も見直していく。 ・広報誌「点と線」を年 3 回発行、パンフレットは 2019 年度に修正し再度発行した。社会福祉士の倫理綱領が 2020 年 6 月に採択され、周知が必要。 ・他の職能団体との協働については人の人脈によるところがあり、会としての継承が必要。 <p>〔次年度重点的に取り組むこと〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新倫理綱領の会員内への普及 ・オンラインを活用した地域集会の再開後押し、未開催地区のてこ入れ ・職能団体と連携できる人材の育成、協働の研究
企画部会活動予定
<p>① 企画部会運営（事業予算：32,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世話人会と合同で年間 2～3 回 <p>② 福祉職地域交流促進事業（事業予算：260,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域集会 14 地区にて延 13 回程度（未開催地区での開催 1, 2 か所含め） ・拡大地域集会および世話人会 年 1, 2 回程度 <p>③ SW 三団体及び他職能団体との協働事業（事業予算：60,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーカー三団体協働事業 ・福祉と司法の千葉県連絡協議会
広報部会活動予定
<p>④ 広報部会運営（事業予算：96,000 円）</p> <p>広報誌作成にあたる作業に対するスタッフ報酬 1 人 1 回：1000 円</p> <p>⑤ 広報誌「点と線」作成（事業予算 831,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回発行、会員の活動発表の場を包含。 ・印刷部数 3,000 部 電子メールでの配信も実施 ・発送先：会員の他 行政、社会福祉施設、県民へ社会福祉士の PR <p>⑥ ホームページの更新（事業予算：8,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：県民及び会員 社会福祉士試験の受験資格者等 ・内容：本会活動情報、求人情報、その他社会福祉士に関連する有益な情報の提供

(2) 総合相談委員会
活動方針
<p>【活動目的】</p> <p>総合相談委員会では、児童や障害、高齢等の各分野で相談業務を担う社会福祉士を対象に、その活動の助けとなるような活動を展開していく。高齢者虐待対応研修の開催や高齢者虐待対応専門職チームへの参加を通じた後方支援のほか、業務に関する意見交換やグループスーパービジョンができるような機会を創出していく。</p> <p>【これまでの実績と今後の課題】</p> <p>総合相談委員会では、千葉県から委託されている高齢者虐待防止対策研修を開催している。実際の現場に合った研修内容となるよう委員会で話し合い、2019年度にはカリキュラムの大幅変更を行った。2020年度は新カリキュラムで研修会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で対面による集合研修が開催できず、県と協議した結果、ICTを活用して開催することとなったほか、開催回数も減少している。</p> <p>今後の課題として、児童や障害、高齢等の各分野で総合相談業務を担っている社会福祉士を対象に意見交換できる場を創出することで、会としてどのような取り組みが必要なのか検討していきたい。</p> <p>【重点取組項目】</p> <p>①高齢者虐待防止対策研修会の開催</p> <p>ア. 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）</p> <p>イ. 高齢者虐待防止対応専門職チームへの参加（受託事業）</p> <p>②総合相談業務を担う社会福祉士の意見交換会開催</p> <p>児童や障害、高齢者等の各分野で総合相談業務を担っている社会福祉士を対象に、意見交換会を開催する。その内容をもとに、今後、会としてどのような取り組みが必要なのか検討する。</p>
虐待対応部会活動予定
<p>① 高齢者虐待防止対策研修（事業予算：1,240,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職、初任者対象 年間2回 ・現任職員対象 年間1回 <p>② 高齢者虐待対応専門職チームへの派遣（事業予算：120,000円）</p> <p>千葉県弁護士会と協働して、市町村や地域包括支援センター等からの要請に応じて高齢者虐待対応を行う。</p>
総合相談部会活動予定
<p>③ 総合相談業務を行う社会福祉士の集い（事業予算：50,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター等に配置されている社会福祉士による意見交換会 年間1回 <p>地域包括支援センターや基幹相談支援センター等で総合相談業務に携わる社会福祉士を対象に意見交換できる場を設け、参加者の資質向上を図る。</p>

(3) 研修委員会
活動方針
<p>所属する会員が社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを目的とした『日本社会福祉士会生涯研修制度による研修』を企画・運営する。</p> <p>昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために講座を中止せざるを得なかったが、今年度は感染防止の対策を取り入れて、従来と同レベルの研修を実施していく。ただし、研修方法については、将来の研修の在り方を模索する年度になると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生涯研修制度の基礎課程「基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を開催する。 ●基礎研修にeラーニングを活用する。 ●基礎研修Ⅱ、Ⅲについて、やむを得ず受講できなかった受講生に配慮し、近隣県で受講が出来るように他県との相互受講が出来るように再度の活動調整を行う。 ●研修啓発部会委員による独自研修事業を立案・実施する。 ●研修啓発部会委員による講師養成、講座のファシリテーション・運営スキルの向上を図る。 ●会場研修については新型コロナウイルス感染対策を徹底する。 ●生涯研修制度・基礎課程修了者を中心に、スーパービジョンのコーディネート支援が求められている。認定社会福祉士となった方などを中心に、スーパーバイザーとなれる人材を確保していく必要性があり、スーパービジョン支援について検討していく。 <p>また、将来に向けて質の高い社会福祉士の育成確保に向け、社会福祉士養成校や民間との連携や実習指導者の養成を実施してゆく。</p> <p>(1) 実習指導者養成</p> <p>当会の実習指導者講習会は毎年実施としており、2020年度は実施した。現在厚労省では社会福祉士養成カリキュラムの見直しがなされており、これに伴い実習指導についてもプログラムが変更される見込みであるので、2021年度もこれらを考慮して実施する。</p> <p>(2) 社会福祉士資格取得支援(国家試験受験対策) 事業</p> <p>質の高い社会福祉人材の育成に向け、社会福祉士養成校や民間との連携のもとで在学中および卒業後の学び合いの体制を構築していくことが求められている。特に養成校での国家試験受験対策や民間での受験者支援システムを展開していくことにより、学生や受験生へのソーシャルワークの理解促進などに取り組んでいく。淑徳大学及び和洋女子大学の講座は新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度後期からリモート研修になったが、継続して実施していく。</p>
活動予定
<p>① 研修啓発部会運営 (事業予算：275,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月例会議 年間12回 (オンライン10回、集合2回) <p>② 県民公開講座 (事業予算：90,000円)</p> <p>社会福祉士の今後の活動や方向性を示し、活動の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 2021年6月 <p>③ 基礎研修事業(日本社会福祉士会 委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 基礎研修Ⅰ (事業予算：400,000円)

<ul style="list-style-type: none"> ・対象者： 40名程度 ・実施時期 2021年5月～2022年3月（年2回） イ 基礎研修Ⅱ（事業予算：1,080,000円） ・対象者： 40名程度 ・実施時期 2021年5月～2022年3月（年10回） ウ 基礎研修Ⅲ（事業予算：1,126,800円） ・対象者： 50名程度 ・実施時期 2021年5月～2022年3月（年10回） ④ 実習指導者講習会（事業予算：332,000円） ・対象者：30名程度 ・実施時期 2021年11月中旬 ⑤ 社会福祉士資格取得支援(国家試験受験対策)事業 ア 淑徳大学講座（事業予算：360,000円） ・対象者：淑徳大学4年生 年間19回予定 ・実施時期 2021年5月～2022年1月 イ 和洋女子大学社会福祉士取得支援講座（事業予算：355,000円） ・年間19回予定 ・実施時期 2021年9月～12月 ウ ジェイシー教育研究所 WEB 模試問題作成（事業予算：1,070,000円） インターネットを利用者した受験者支援システムを展開 ・実施時期 2021年9月～2022年3月（1回） ⑥ 独自研修 ア 先輩SWへの学びの研修（事業予算：63,000円） ・対象者： 20名程度 ・実施時期 2021年7月～2022年10月（1回） イ 社会福祉ワンアップ研修（事業予算：43,000円） ・対象者： 基礎研修修了者10名程度 ・実施時期 2021年5月～2022年2月（2回） ウ グループソーシャルワーク研修（事業予算：140,000円） ・対象者： 基礎研修修了者20名程度 ・実施時期 2021年9月～2022年3月
<p>備考 その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本社会福祉士会生涯研修委員会議（9～10月頃・東京） ・基礎研修講師養成研修（11～3月頃・東京）

<p>（4）権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会</p>
<p>活動方針</p> <p>権利擁護センターぱあとなあ千葉は、権利擁護活動として、成年後見制度における成年後見人等を担う人材養成を行なうとともに、家庭裁判所・自治体等からの要請に応え、登録員の成年後見等の受任を積極的に進め、千葉県の成年後見制度において大きな役割を果たしている。</p>

ぱあとなあ千葉は、今後も登録員が安心して、社会福祉士らしい成年後見人等の活動を行えるよう、登録員をサポートできる体制づくり、新たに創設した報酬助成事業等の各種事業を行なうとともに、成年後見制度の健全な形での利用促進に向けたソーシャルアクションを行ない、社会の負託に応えていきたい。

運営委員会活動予定

- ① 運営委員会運営（事業予算：390,000円）
 - ・会議 年間8回（オンライン4回、集合4回）
- ② 全体会（事業予算：31,000円）

運営委員会が主催し、登録員に対し、ぱあとなあ千葉の事業に関する報告、情報提供するとともに、諸課題に関する意見交換を行なう。

 - ・会議 年1回（集合）
- ③ ぱあとなあ千葉ニュース（事業予算：175,000円）

登録員向けニュースレターの企画、編集、発行等を行なう。

 - ・発行 年4回
- ④ 渉外・ソーシャルアクション（事業予算：92,000円）

一般市民、部外関係機関等に対する広報、渉外、ソーシャルアクション等を行なう。

 - ・パンフレット作成、部外会議・訪問等
- ⑤ 未成年後見（事業予算：32,000円）

未成年後見受任のための体制整備を行なう。

 - ・会議 年3回（集合1回、オンライン2回）
- ⑥ ICT推進（事業予算：36,000円）

ぱあとなあ千葉の諸事業におけるICT化推進の調査・企画、実施を行なう。

 - ・会議 年3回（集合1回、オンライン2回）
- ⑦ 支部設立準備会（事業予算：48,000円）

各地域の支部作り（ブロック化）の準備を行なう。

 - ・会議 年2回（集合1回、オンライン1回）

研修部会活動予定

- ⑧ 研修部会運営（事業予算：75,000円）
 - ・会議 年間3回（オンライン2回、集合1回）
- ⑨ 必須登録員研修（事業予算：270,000円）

登録員全員が対象。後見活動に必須となる基本知識の再確認、新知識の習得等のための研修を行なう（年1回以上の参加が、次年度の後見人等候補者推薦の要件）。

 - ・研修 年3回（参加者：登録員のべ270名）
- ⑩ ぱあとなあ千葉サポート研修（事業予算：230,000円）

実務経験3年未満の登録員を対象として、後見事務の基本知識、スキルを習得する研修を企画、実施する。

 - ・研修 年9回（参加者：登録員のべ230名）
- ⑪ レベルアップ研修（事業予算：120,000円）

実務経験3年以上の登録員の知識、スキルアップに向けた研修を企画、実施する。

 - ・研修 年2回（参加者：登録員のべ60名）
- ⑫ 弁護士との事例検討会事業（事業予算：220,000円）

<p>登録員を対象として、後見事務遂行上の法的課題に関する知識、解決方法を習得する研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修 年6回（対象者：登録員のべ110名） <p>⑬ 支援者のための成年後見活用講座（事業予算：220,000円）</p> <p>成年後見制度の普及、利用支援等に係わる自治体、福祉関係機関の支援者を対象として、成年後見制度に関する基本知識、活用方法の習得のための研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修 年1回（対象者：自治体、福祉関係者30名）
<p>コーディネート部会活動予定</p>
<p>⑭ コーディネート（事業予算：840,900円）</p> <p>家庭裁判所、自治体等からの後見人等候補推薦の要請を受け、事案に相応しい候補を登録員の中から選出、依頼、確定し、推薦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年10回（オンライン会議6回、集合会議4回） ・コーディネート作業（400件） <p>⑮ 相談事業（事業予算：610,000円）</p> <p>一般市民、自治体・福祉関係者等から、成年後見制度の活用方法等に関する相談に関して、電話、訪問・面談に応じる。</p> <p>また、ぽあとなあ千葉登録員から、成年後見人等の活動等に関する相談に関して、電話、訪問・面談に応じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談 年150日、訪問相談 年30件
<p>業務管理部会活動予定</p>
<p>⑯ 活動報告書読み込み作業（事業予算：690,000円）</p> <p>部会員が、登録員から毎年2月に提出される受任案件に関する活動報告書を読み込み、後見事務遂行上の課題等を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年2回（オンライン会議1回、集合会議1回） ・点検・読み込み作業（1,500件） <p>⑰ 受任者面接（事業予算：190,000円）</p> <p>活動報告書の読み込み等を通じ、課題を抱えている登録員、経験の浅い登録員、多数案件受任の登録員等に対して、部会員が面談し、必要な場合、指導、助言を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 年25人 <p>⑱ 法人後見事業（事業予算：272,000円）</p> <p>当会が受任した法人後見の実施、管理を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人後見受任 1件
<p>報酬助成審査会活動予定（新設）</p>
<p>⑲ 報酬助成事業（事業予算2,000,000円）</p> <p>無報酬・低報酬案件を受任した登録員に対する報酬助成制度の運用として、原資となる受任会費の徴収、報酬助成の申請受付、審査、支給に関する事務を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬助成 120,000円×12件
<p>備考</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、下記研修は2021年度実施しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人材育成研修（対象：基礎研修Ⅲ修了者） ・名簿登録研修（対象：人材育成研修修了者）

(5) 司法福祉委員会
活動方針
<p>司法福祉委員会は、刑事司法ソーシャルワーカーを育て、高齢者・障害者等の被疑者・被告人の支援に弁護士と共同し福祉的支援で関わっていく。刑事司法ソーシャルワーカーとしての実質的な専門性習得を目指す、認定機構研修の刑事司法ソーシャルワーカー養成講座（基礎編・応用編）を開催する。2019年度は基礎編・応用編を実施しそれぞれ29人、33人の参加者があり、刑事司法ソーシャルワーカーの登録者数は合計48人となった。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったが、2021年度は「刑事司法ソーシャルワークの実務講座」として開講予定である。</p> <p>また、マッチング支援は、弁護士からの依頼に応じ支援件数が今後増えていく分野で、2020年度は6件受けている。そして、刑事司法登録者の実践力を育てるために、学習会を開き刑事司法ソーシャルワーカーの実践報告（複数回実施）や書籍「刑事司法ソーシャルワーカーの実務」の学習に力を入れる。</p>
活動予定
<p>① 委員会の開催（事業予算：30,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月例会議 年間4回 <p>② 学習会 年間3回（事業予算：30,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刑事司法ソーシャルワーカーの実践報告 ・書籍「刑事司法ソーシャルワーカーの実務」の学習 <p>③ 刑事司法ソーシャルワーカー養成事業</p> <p>基礎編（事業予算200,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：司法福祉に関心のある会員 40名程度 ・実施時期3年11月下旬の土日 <p>応用編（事業予算200,000円 財源：参加費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：司法福祉の実践理論を学び登録員を希望する会員 40名程度 ・実施時期4年1月下旬の土日 <p>④ マッチング支援事業</p> <p>弁護士からの依頼により、刑事司法ソーシャルワーカーとして登録した者が弁護士と共同し支援する。</p>

(6) 災害対策委員会
活動方針
<p>千葉県社会福祉士会大規模災害対応ガイドライン（以下、「ガイドライン」と記す。）に基づき、災害対応体制の整備・拡充、千葉県等関係団体との連携・情報共有を以下により推進する。</p> <p>①災害対応体制の整備・拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点事項1-1 <p>「ガイドライン」に基づく「被災地支援活動協力員名簿」の適切な維持管理に努め、災害発生時に即応できる体制を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点事項1-2

2019年度における被災地支援活動等におけるソーシャルワーク専門職の役割の確認、被災地活動協力員の普及拡大を目的として「災害対策研修会」を開催する。

*新型コロナウイルス感染症の状況により開催時期を検討

・重点事項 1-3

「ガイドライン」に基づく被災地支援活動に従事した会員等に対する旅費及び活動費補助等の充実を検討し、安心して被災地支援活動に参加できる体制の整備を図る。

②他団体との連携・情報共有

・重点事項 2-1

日本社会福祉士会及び同会関東甲信越ブロックにおける災害支援連携会議・研修会等への参加を通じて、他都道府県社会福祉士会との連携・情報共有を図る。

・重点事項 2-2

千葉県災害ボランティアセンター連絡会における 9 都県市合同防災訓練・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等への参加を通じて、関係団体との連携・情報共有を図る。

・重点事項 2-3

千葉県災害復興支援士業ネットワークへの参加を通じて、千葉県弁護士会等専門職団体との連携・情報共有を図る。

③「千葉県災害福祉支援ネットワーク」への参画推進

2020年7月に千葉県等との間で締結した「災害福祉支援チーム(DWAT)派遣に関する基本協定書」に基づく標記「ネットワーク」への参画を以下により推進する。

・重点事項 3-1

ワーキンググループ等の場で、ソーシャルワーク専門職の視点からの提言を積極的に行う。

・重点事項 3-2

「千葉県災害福祉支援ネットワーク」に関して、千葉県社会福祉士会会員に対する情報発信を行い、「災害福祉支援チーム(DWAT)」への意識啓発・登録促進を図る。

活動予定

① 委員会運営(事業予算:40,000円)

・会議・訓練等への参加

② 災害対策研修事業

・受講者:会員40名、他団体所属者等30名程度

・実施時期 未定

(7) その他

① 千葉県社会福祉士会倫理委員会

会員による倫理綱領違反等が疑われる事案が発生した場合、苦情手続規則に基づき倫理委員会が審査を行い、本会に所属する社会福祉士の倫理及び資質の向上に努めていく。

② 松戸市居住不安定者等居宅生活移行支援事業業務受託

2016年度から松戸市より委託を受けている本事業も5年目に入り、市内、市外の無料低額宿泊所等に入所している生活保護受給者に対する支援を積極的に進めている。

業務内容は、長期にわたって無料低額宿泊所等に入所している状態にある生活保護受給者を対象に、民間賃貸住宅または社会福祉法に規定する事業を行うための施設等への入所を促進する

とともに、入居した後も地域で安定した生活を維持し円滑に定着できるよう継続して支援し、自立を促すことにある。人員は 松戸市役所生活支援課内に常勤と非常勤の居宅移行支援員各 1 名の計 2 名を配置し、関係機関と連携しながら日々相談支援業務にあたっている。特にここ数年は市内の大規模無料低額宿泊所との業務の連携が良好であることが事業の進捗に寄与している。

2021 度は生活保護法の改正により単身で生活することが困難な生活保護受給者について、サービスの質が確保された施設（日常生活支援住居施設）において、必要な日常生活上の支援を受けて生活できる仕組みを創設したことにより、対象が従来の無料低額宿泊所と日常生活支援住居施設に入所している生活保護者になった。これにより「松戸市居住不安定者等居宅生活移行支援事業業務委託」と名称変更して、居宅移行が居宅生活移行に変わった。2021 年度も支援目標数である年間 18 名以上の転居を目指し、事業受託を継続していく。

想定委託期間 : 2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

想定委託金額 : 11,600,000 円

2021年度収支予算書

2021年4月1日～2022年3月31日

(単位:円)

科目			2020予算(補正反映後)			2021予算		
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
1	会費		26,973,000	8,316,000	18,657,000	25,912,000	8,248,000	17,664,000
	1	会費	23,743,000	7,875,000	15,868,000	22,642,000	7,800,000	14,842,000
	1	正会員	23,725,000	7,875,000	15,850,000	22,620,000	7,800,000	14,820,000
	2	準会員	6,000	0	6,000	10,000	0	10,000
	3	賛助会員	12,000	0	12,000	12,000	0	12,000
	4	負担金	0	0	0	0	0	0
	5	入会金	0	0	0	0	0	0
	2	ばあとなあ登録料	3,230,000	441,000	2,789,000	3,270,000	448,000	2,822,000
	1	ばあとなあ名簿登録料	3,150,000	441,000	2,709,000	3,200,000	448,000	2,752,000
	2	ばあとなあ準会員登録料	80,000	0	80,000	70,000	0	70,000
2	事業費		21,982,441	22,396,956	△ 414,515	25,748,000	27,903,700	△ 2,155,700
	1	総務事業	0	978,000	△ 978,000	270,000	1,287,000	△ 1,017,000
	1	企画部会運営費	0	25,000	△ 25,000	0	32,000	△ 32,000
	2	SW3団体及びその他職能団体との協働事業費	0	0	0	0	60,000	△ 60,000
	3	福祉職地域交流促進事業費	0	25,000	△ 25,000	0	260,000	△ 260,000
	6	広報誌作成費	0	831,000	△ 831,000	270,000	831,000	△ 561,000
	8	広報部会運営費	0	89,000	△ 89,000	0	96,000	△ 96,000
	9	WEB維持管理費	0	8,000	△ 8,000	0	8,000	△ 8,000
	2	総合相談事業	1,485,900	1,362,000	123,900	1,462,000	1,410,000	52,000
	1	総合相談委員会運営費	0	54,000	△ 54,000	0	0	0
	2	高齢者虐待防止対策研修会(県事業)	1,479,000	1,240,000	239,000	1,342,000	1,240,000	102,000
	3	高齢者虐待対応専門職チーム	6,900	0	6,900	120,000	120,000	0
	4	無料相談事業	0	38,000	△ 38,000	0	0	0
	5	こどもに関する取組	0	30,000	△ 30,000	0	0	0
	6	千葉県高齢者虐待対応マニュアル改訂事業	0	0	0	0	0	0
	7	【新規】総合相談業務を担う社会福祉士の集い	0	0	0	0	50,000	△ 50,000
	3	研修事業	4,065,900	2,412,000	1,653,900	7,730,000	5,334,800	2,395,200
	1	研修委員会運営費	2,300	150,000	△ 147,700	0	275,000	△ 275,000
	2	県民公開講座(研究大会・総会)	0	0	0	0	90,000	△ 90,000
	3	基礎研修Ⅰ	32,200	0	32,200	400,000	400,000	0
	4	基礎研修Ⅱ	230,000	0	230,000	2,000,000	1,080,000	920,000
	5	基礎研修Ⅲ	195,500	0	195,500	2,500,000	1,126,800	1,373,200
	6	ジェイシー教育研究所web模試 問題作成	1,510,600	1,070,000	440,600	1,300,000	1,070,000	230,000
	7-1	社会福祉士取得支援講座(和洋女子大学)	757,500	350,000	407,500	700,000	355,000	345,000
	7-2	社会福祉士取得支援講座(東京成徳大学)	600,000	300,000	300,000	0	0	0
	8	実習指導者講習会	405,600	317,000	88,600	350,000	332,000	18,000
	10	淑徳大学講師派遣	332,200	225,000	107,200	380,000	360,000	20,000
	12	社会福祉士ワンアップ研修(基礎研修終了者)	0	0	0	20,000	43,000	△ 23,000
	13	社会福祉士ファシリテーター研修	0	0	0	0	0	0

科目			2020予算(補正反映後)			2021予算		
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
	14	グループワーク研修	0	0	0	60,000	140,000	△ 80,000
	15	ケアマネジメント研修	0	0	0	0	0	0
	16	先輩SWへの学び研修	0	0	0	20,000	63,000	△ 43,000
	4	ばあとなあ千葉運営事業	3,041,700	4,869,956	△ 1,828,256	3,456,000	6,541,900	△ 3,085,900
	1	ばあとなあ委員会運営費	0	336,500	△ 336,500	0	390,000	△ 390,000
	2	部会交通費	0	0	0	0	0	0
	3	相談事業	0	431,328	△ 431,328	0	610,000	△ 610,000
	4	成年後見制度活用講座	301,600	217,128	84,472	300,000	220,000	80,000
	5	成年後見人材育成研修(委託研修)	1,722,500	581,000	1,141,500	0	0	0
	6	法人後見事業	236,700	251,000	△ 14,300	216,000	272,000	△ 56,000
	7	活動報告書読み込み作業	0	632,000	△ 632,000	0	690,000	△ 690,000
	9	渉外・ソーシャルアクション	0	92,000	△ 92,000	0	92,000	△ 92,000
	10	受任者面接	0	170,000	△ 170,000	0	190,000	△ 190,000
	11	ばあとなあ千葉ニュース	0	253,000	△ 253,000	0	175,000	△ 175,000
	12	コーディネート会議	0	993,000	△ 993,000	0	840,900	△ 840,900
	13	名簿登録研修	180,000	163,000	17,000	0	0	0
	14	必須登録員研修	279,000	240,000	39,000	300,000	270,000	30,000
	15	千葉サポート	224,900	150,000	74,900	260,000	230,000	30,000
	16	レベルアップ研修	53,200	100,000	△ 46,800	140,000	120,000	20,000
	17	家裁事務報告書指導	0	0	0	0	0	0
	18	テーマ別弁護士との事例検討会	13,800	110,000	△ 96,200	240,000	220,000	20,000
	19	独立型社会福祉士事業サポート →独立型社会福祉士部会準備会	30,000	31,000	△ 1,000	0	0	0
	20	関東甲信越ブロック連絡会	0	0	0	0	0	0
	21	ばあとなあ千葉全体会	0	39,000	△ 39,000	0	31,000	△ 31,000
	22	個人情報保護 相談委託業務	0	0	0	0	0	0
	23	リスクマネジメント部会	0	48,000	△ 48,000	0	0	0
	24	【2020新規】未成年後見	0	32,000	△ 32,000	0	32,000	△ 32,000
	新	研修部会運営	0	0	0	0	75,000	△ 75,000
	新	報酬助成事業	0	0	0	2,000,000	2,000,000	0
	新	支部設立準備事業	0	0	0	0	48,000	△ 48,000
	新	ICT推進	0	0	0	0	36,000	△ 36,000
	5	司法福祉	78,200	130,000	△ 51,800	810,000	460,000	350,000
	1	司法福祉委員会運営費	78,200	90,000	△ 11,800	0	30,000	△ 30,000
	2	司法福祉学習会	0	40,000	△ 40,000	10,000	30,000	△ 20,000
	3	刑事司法SW養成講座(基礎)	0	0	0	400,000	200,000	200,000
	4	刑事司法SW養成講座(応用編)	0	0	0	400,000	200,000	200,000
	5	マッチング支援	0	0	0	0	0	0
	6	災害対策	0	90,000	△ 90,000	0	40,000	△ 40,000
	1	千葉県社会福祉士会災害対策委員会	0	90,000	△ 90,000	0	40,000	△ 40,000
	2	災害対策研修	0	0	0	0	0	0

科目			2020予算(補正反映後)			2021予算		
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
7	その他		13,310,741	12,555,000	755,741	12,020,000	12,830,000	△ 810,000
	1	千葉県社会福祉士会倫理委員会		300,000	△ 300,000	0	300,000	△ 300,000
	2	社会福祉士ささえあい制度配分委員会	0	72,000	△ 72,000	0	0	0
	3	選挙管理委員会	0	0	0	0	430,000	△ 430,000
	4	法人後見監査業務委員会	0	87,000	△ 87,000	0	80,000	△ 80,000
	5	居住確保支援事業	13,240,741	12,000,000	1,240,741	11,600,000	11,600,000	0
	6	千葉県生涯研修センター	0	36,000	△ 36,000	0	0	0
	7	社会福祉士会活性化事業	0	0	0	400,000	400,000	0
	8	講師派遣事業	70,000	60,000	10,000	20,000	20,000	0
3	事務費		0	20,831,000	△ 20,831,000	0	20,481,000	△ 20,481,000
	1	消耗品費	0	680,000	△ 680,000	0	550,000	△ 550,000
	2	印刷製本費	0	700,000	△ 700,000	0	650,000	△ 650,000
	3	通信運搬費	0	1,080,000	△ 1,080,000	0	1,000,000	△ 1,000,000
	4	慶弔費	0	20,000	△ 20,000	0	30,000	△ 30,000
	5	賃金等	0	12,700,000	△ 12,700,000	0	12,400,000	△ 12,400,000
	6	法定福利費	0	1,500,000	△ 1,500,000	0	1,650,000	△ 1,650,000
	7	水道光熱費	0	140,000	△ 140,000	0	140,000	△ 140,000
	8	賃借料	0	1,750,000	△ 1,750,000	0	1,680,000	△ 1,680,000
	9	委託料	0	850,000	△ 850,000	0	1,250,000	△ 1,250,000
	10	役員報酬	0	900,000	△ 900,000	0	350,000	△ 350,000
	11	役員旅費	0	100,000	△ 100,000	0	350,000	△ 350,000
	12	役員選挙事務費	0	0	0	0	0	0
	13	保険料	0	41,000	△ 41,000	0	41,000	△ 41,000
	14	会議費	0	20,000	△ 20,000	0	50,000	△ 50,000
	15	諸会費	0	50,000	△ 50,000	0	40,000	△ 40,000
	16	雑費	0	300,000	△ 300,000	0	300,000	△ 300,000
4	受取補助金等		2,799,417	0	2,799,417	0	0	0
5	寄付金		0	0	0	0	0	0
6	繰越金		0	0	0	0	0	0
7	雑収入		0	0	0	0	0	0
8	租税公課		0	700,000	△ 700,000	0	700,000	△ 700,000
9	敷金支出		0	0	0	0	0	0
10	予備費		0	1,000,000	△ 1,000,000	0	1,000,000	△ 1,000,000
11	配分金		0	600,000	△ 600,000	0	0	0
	総計		51,754,858	53,843,956	△ 2,089,098	51,660,000	58,332,700	△ 6,672,700